

FA51

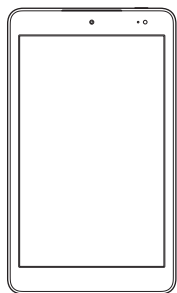
User Guide 取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、「FA51」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

・ACアダプタ	・microSDメモ리카ード	・microUSBケーブル
・イヤホン	・USB Type-Cケーブル	



memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『オンラインマニュアル』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、xホームページでご確認できます。

(<https://www.x.com/online-manual/>)

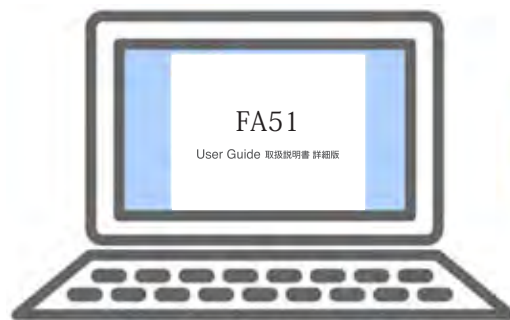
本製品では以下の操作で『オンラインマニュアル』をご確認できます。
ホーム画面→[x サポート]→[取扱説明書]



■『取扱説明書 詳細版』(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、xホームページでご確認できます。

<https://www.x.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the x website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をxホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

<https://www.x.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[G]→[:]	ホーム画面下部の「[G](Chrome)」をタップします。続けて「[:]」をタップします。
スリープモード中に☐ (電源ボタン)	スリープモード中に☐ (電源ボタン)を押します。

- ・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.24)。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はx Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



memo

- ◎ 本書では本体カラー「チョコミント」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「x Nano IC Card 04 LE」の名称を「x ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」、「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	2
目次	3
注意事項	7
注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	8
材質一覧	10
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	14
2.4GHz帯ご使用上の注意	14
5GHz帯ご使用上の注意	14
各種暗証番号／PINコードについて	14
各種暗証番号について	14
PINコードについて	14
データ通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
アプリの権限を設定する	15
マナーも携帯する	15
ご利用の準備	17
ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
x ICカードについて	19
x ICカードを取り付ける／取り外す	19
x ICカードを取り付ける	19
x ICカードを取り外す	19
充電する	20
指定のACアダプタを使って充電する	20
パソコンを使って充電する	20
電源を入れる／切る	20
電源を入れる	20
電源を切る	20
強制的に電源を切り再起動する	20
セーフモードについて	21
画面をロックする／画面ロックを解除する	21
スタート画面について	21
スタート画面からホーム画面を表示する	21
スリープモードについて	21
初期設定を行う	21
Googleアカウントをセットアップする	21
x IDを設定する	21
基本操作	23
基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ナビゲーションバーの使いかた	24
縦／横画面表示を切り替える	24
ホーム画面を利用する	24
クイック起動エリアを利用する	24
ホーム画面の主な アプリ／フォルダについて	25
アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する	26
ホーム画面の壁紙を変更する	26
ホーム画面を設定する	26
ホームアプリを切り替える	26
標準ホームを利用する	26
アプリを起動する	26
本製品の状態を知る	27
アイコンの見かた	27
通知パネルについて	27
最近使用したアプリを起動する	27
マルチウィンドウを利用する	27
マナーモードを設定する	28
メニューを表示する	28
スクリーンショットを撮影する	28

モバイル機器を充電する	28
文字入力	28
文字を入力する	28
キーボードを切り替える	28
ケータイ配列／QWERTY／Godanキーボードで入力する	28
文字入力の便利な機能を利用する	29
絵文字／記号／顔文字を入力する	29
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける	29
文字入力の各種設定を行う	29
ユーザー辞書に登録する	29
連絡先	31
連絡先	32
連絡先について	32
連絡先を登録する	32
連絡先を編集／削除する	32
連絡先を編集する	32
連絡先を削除する	32
連絡先をインポート／エクスポートする	32
インポートする	32
エクスポートする	32
メール	33
xメール	34
xメールのご利用にあたって	34
xメールの初期設定について	34
画面の見かた	34
xメールを送信する	34
xメールを受信する	34
受信ボックス(新着順表示画面)	34
受信ボックス(送信者別表示画面)	34
受信詳細画面	35
迷惑メールフィルターを設定する	35
SMS	36
SMSを送信する	36
SMSを受信する	36
SMSを返信／転送する	36
電話番号／メールアドレス／URLを利用する	36
SMSを保護／保護解除する	36
SMSの電話番号を連絡先に登録する	36
SMSを検索する	36
SMSを削除する	37
SMSを設定する	37
受信フィルターを設定する	37
Gmail	37
Gmailを起動する	37
Gmailを更新する	37
Gmailを送信する	37
Gmailを受信する	37
Gmailを返信／転送する	37
Gmailのメニューを利用する	37
インターネット	39
インターネット接続	40
インターネットについて	40
データ通信を利用する	40
ブラウザ(Chrome)	40
Webページを表示する	40
Webページを移動する	40
Webページのメニューを利用する	40
ブックマーク／履歴を利用する	40
ブックマークを利用する	40
ブックマークに登録する	40
履歴を利用する	40
アプリケーション	41
カメラ	42
カメラをご利用になる前に	42
撮影画面の見かた	42
撮影前の設定をする	42
静止画を撮影／動画を録画する	43
写真/動画	43
データを再生する	43

静止画を編集する.....	43
Play Music.....	43
音楽データを再生する.....	43
音楽を再生する.....	43
曲や曲に関連する情報を検索する.....	43
プレイリストを作成する.....	43
Playムービー&TV.....	43
Playムービー&TVを利用する.....	43
xサービスTOP.....	44
xサービスTOPを利用する.....	44
xスマートパス.....	44
xスマートパスを利用する.....	44
My xお客さまサポート).....	44
My xを利用する.....	44
xスマートサポート.....	44
xスマートサポートでできること.....	44
位置検索サポート.....	44
位置検索サポートについて.....	44
位置検索をご利用いただくにあたって.....	44
ご利用上の注意.....	44
遠隔操作サポート.....	45
遠隔操作サポートを利用する.....	45
故障紛失サポート.....	45
故障紛失サポートを利用する.....	45
あんしんフィルターfor x.....	45
あんしんフィルターfor xを利用する.....	45
QR・バーコードリーダー.....	46
Androidアプリ.....	46
Google Playを利用する.....	46
アプリを検索し、インストールする.....	46
アプリケーションを管理する.....	46
提供元不明のアプリのダウンロード.....	46
YouTube.....	46
YouTubeを利用する.....	46
Facebook.....	46
Googleサービス.....	46
Googleマップを利用する.....	46
ストリートビューを表示する.....	46
興味のある場所を検索する.....	47
周辺のスポットを確認する.....	47
道案内を取得する.....	47
子どもロック.....	47
子どもロックを利用する.....	47
子どもロックを設定する.....	47
クックプラス.....	47
クックプラスを利用する.....	47
クックプラスの設定をする.....	47
プラスランチャーを利用する.....	47
カレンダー.....	47
カレンダーを利用する.....	47
カレンダーのメニューを利用する.....	47
予定を新規登録する.....	47
カレンダーを設定する.....	47
時計.....	48
アラームを利用する.....	48
タイマーを利用する.....	48
ストップウォッチを利用する.....	48
世界時計を利用する.....	48
電卓.....	48
電卓を利用する.....	48
音声レコーダー.....	48
音声レコーダーを利用する.....	48
音声を再生する.....	48
音声データを選択して削除する.....	48
ファイル管理.....	49
ファイル管理.....	50
本製品の保存領域について.....	50
microSDメモリカードを利用する.....	50
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す.....	50
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する.....	51
メモリの使用量を確認する.....	51

microSDメモリカードを初期化する.....	51
USBホスト機能を利用する.....	51
File Commander.....	51
File Commanderを利用する.....	51
写真をmicroSDメモリカードに移動する.....	51
データ通信.....	53
Bluetooth®機能.....	54
Bluetooth®機能について.....	54
Bluetooth®機能をオンにする.....	54
Bluetooth®機器を登録する.....	54
他のBluetooth®機器から検出可能にする.....	54
Bluetooth®機器の接続を解除する.....	54
Bluetooth®機能でデータを送受信する.....	54
Bluetooth®機能でデータを送信する.....	54
Bluetooth®機能でデータを受信する.....	54
無線LAN(Wi-Fi®)機能.....	55
無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	55
Wi-Fi®機能をオンにする.....	55
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	55
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する.....	55
Wi-Fi®機能を切断する.....	55
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする.....	55
Wi-Fi®機能の詳細設定をする.....	55
Wi-Fi Direct®を設定する.....	55
テザリング機能.....	56
テザリングについて.....	56
USBテザリング機能を利用する.....	56
Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	56
Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	56
機能設定.....	57
機能設定.....	58
設定メニューを表示する.....	58
x設定メニューを表示する.....	58
無線とネットワークの設定をする.....	58
機内モードを設定する.....	59
VPNを設定する.....	59
画面の設定をする.....	59
ブルーライト軽減を設定する.....	59
スクリーンセーバーを設定する.....	59
省電力モードを設定する.....	59
表示拡大モードを設定する.....	59
カスタマイズボタンを設定する.....	60
アプリの通知を設定する.....	60
アプリごとの通知を設定する.....	60
通知全体の設定をする.....	60
音の設定をする.....	60
各種音量を調節する.....	60
ストレージに関する設定をする.....	60
電池使用量を表示する.....	60
バッテリーケアモードを設定する.....	60
メモリの使用状況を確認する.....	60
位置情報の設定をする.....	60
スタート画面とセキュリティの設定をする.....	60
SIMカードロックを設定する.....	61
アカウントの設定をする.....	61
アカウントを追加／削除する.....	61
Google.....	61
言語と入力に関する設定をする.....	61
バックアップとリセット.....	61
本製品を初期化する.....	62
日付と時刻の設定をする.....	62
日付を設定する.....	62
時刻を設定する.....	62
ユーザー補助の設定をする.....	62
印刷に関する設定をする.....	62
Rollbahn®フラップケースの設定をする.....	62
タブレット情報に関する設定をする.....	62
付録.....	63
付録.....	64

ソフトウェアを更新する	64
ご利用上の注意	64
ソフトウェアをダウンロードして更新する	64
故障とお考えになる前に	64
アフターサービス	65
修理を依頼されるときは	65
補修用性能部品について	65
無償修理規定	65
故障紛失サポートについて	65
x ICカードについて	65
xアフターサービスの内容について	65
「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員) ご負担金	65
SIMロック解除	65
周辺機器	66
イヤホンを使用する	66
主な仕様	66
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	67
FCC Notice	67
輸出管理規制	67
知的財産権について	68
商標について	68
License	68
索引	69

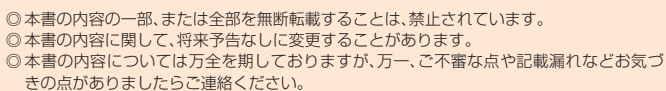
注意事項

注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	8
材質一覧	10
取り扱い上のご注意	10
防水／防塵性能に関するご注意	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	14
各種暗証番号／PINコードについて	14
データ通信料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
アプリの権限を設定する	15
マナーも携帯する	15

注意事項

本製品のご利用について

- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: 京セラ株式会社



安全上のご注意(必ずお守りください)

- | | |
|---|--|
|  危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
|  警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。 |

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠ 危險

 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
- 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水・防塵性能については以下をご参照ください。
- ▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」

-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」

-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特にかばんなどに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
- 内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ※ ご注意いただきたい例
- ・ かばんに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ・ ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

-  分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」

-  充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
- 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水性能については以下をご参照ください。
- ▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」

- !** オプション品は、xが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

- !** 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- ！** 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
- ・電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・本製品の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意

- ❌** 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❌** ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。
- ❌** 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水／防塵性能に関するご注意」
- ❌** 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。
- ❌** 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- ！** 本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠️ 危険

- ❌** 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❌** 釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ！** 本体内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本体内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠️ 警告

- ❌** ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
- ❌** 自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
- ❌** 点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。
- ❌** 本製品内のx ICカードやmicroSDメモ리카ードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、x ICカードやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❌** カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ！** 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- ！** 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- ！** 心臓の弱い方は、パイプレータ(振動)や通知音量の設定に注意してください。
突然のパイプレータ(振動)や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- ！** 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- ！** 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ！** ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ！** 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ！** ベットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意

- ❌** ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❌** 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、xショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- ❌** 内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ！** 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- ！** 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.10「材質一覧」
- ！** 本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。
- ！** ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠️ 警告

- ❌** 指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌** 指定の充電用機器(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌** 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。
- ❌** コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌** 指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌** コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌** 本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❌** ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- ⚡** 濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ！** 指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
- ！** 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ！** 指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ！** 電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ！** 本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ！** 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ➡️** 使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ➡️** 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ x ICカードについて

⚠️ 注意



x ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠️ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ FA51本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース、背面カバー、カード挿入口カバー、電源ボタン、音量上／下ボタン、カスタマイズボタン、カメラリング	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ(スクリーン)	化学強化ガラス	防汚処理
カメラレンズ	PMMA樹脂	ハードコート処理
イヤホン端子	PA樹脂	—
モバイルライト部	PMMA樹脂	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、x ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP5X)を発揮するために、カード挿入口カバーをしっかり取り付けた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでカード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 充電用機器
- 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
- 本製品本体
- x ICカード(本製品本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中のタブレットの使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、x ショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先ののとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ・ 水中での操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[タブレット情報]→[認証情報]本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- かばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れると、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿度による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
 - ・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - ・ 寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
 - ・ 湿度が高い環境でカード挿入口カバーなどを開閉する
- くもりを取る方法高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でカード挿入口カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 通常はカード挿入口カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを開めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のx ICカードやmicroSDメモ리카ード挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。マイク、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかな布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないと、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、xショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないと、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ x ICカードについて

- x ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるxの端末への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、x ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- x ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたx ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製・頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをするや肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYFA51です。また、以下の方法でも確認できます。確認方法：ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[タブレット情報]→[認証情報]

防水／防塵性能に関するご注意

本製品はカード挿入口カバーが完全に装着された状態でIPX5^{*1}相当、IPX8^{*2}相当の防水性能およびIP5X^{*3}相当の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、通信端末としての性能を保つことです。
※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、通信端末としての性能を保つことです。
※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に本製品を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに通信端末の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

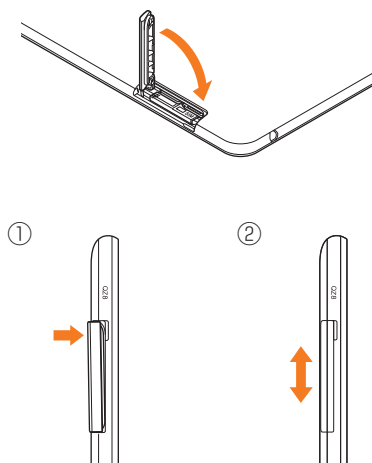
すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- カード挿入口カバーをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカー・マイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るものそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- スピーカー・マイクなどに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きをしてください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- **カード挿入口カバーについて**
 - ・ カード挿入口カバーはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
 - ・ カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
 - ・ カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

カード挿入口カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



● 水以外が付着した場合

- ・ 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- ・ やや弱め的水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- ・ 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、カード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

● 水に濡れた後は

- ・ 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- ・ 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- ・ カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- ・ カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- ・ 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- ・ カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- ・ 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのxショップまでご連絡ください。

● 耐熱性について

- ・ 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 衝撃について

- ・ 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

充電のときは

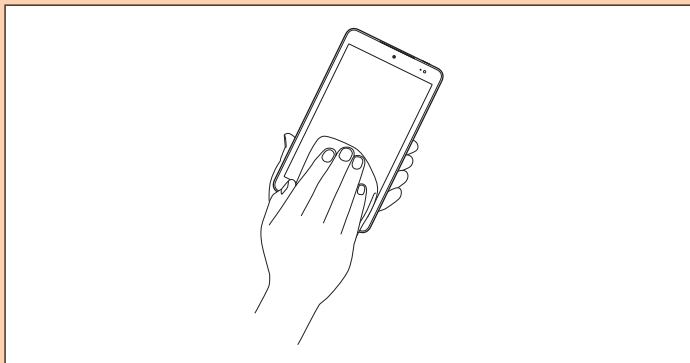
付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- ・ 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災・故障・やけどの原因となります。
- ・ 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを接続してください。
- ・ 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ・ 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- ・ 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

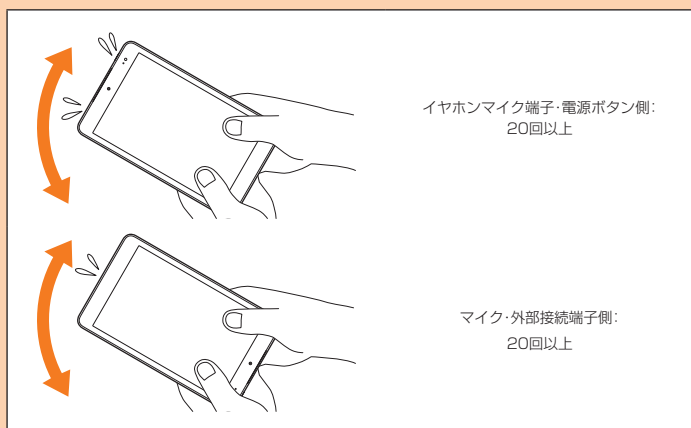
本製品を水に濡らした場合、必ずスピーカー、マイクの水抜きをしてください。
そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。**



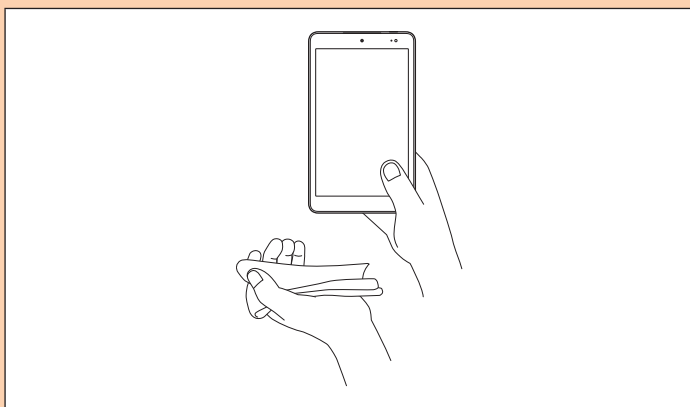
2 振りがたについて

- ① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
 - ※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - ※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



- ② 出てきた水分を拭き取ります。
 - ※ スピーカー・マイク、外部接続端子部、イヤホンマイク端子部、音量ボタン、カスタマイズボタン周辺は特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
- ③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、スピーカー・マイク・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部・音量ボタン・カスタマイズボタン周辺などの隙間に入った水分を拭き取ってください。**



- 4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。**

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・一部の国／地域では無線LAN®(Wi-Fi)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、xショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・ W52 (5.2GHz帯 / 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch)
- ・ W53 (5.3GHz帯 / 52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch)
- ・ W56 (5.6GHz帯 / 100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
W52	W52	W53	W56

各種暗証番号／PINコードについて

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

各種暗証番号について

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、使用時は必ず初期値からお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● 暗証番号

使用例	xホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

なお、使用時は必ず初期値からお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	お買い上げ時の初期設定に従う

PINコードについて

PINコード

第三者によるx ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- ・ お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- ・ 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・ PINロック解除コードは、x ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・ PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ・ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、xショップ・PiPiもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- ・ PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

<この部分をコピーしてご使用ください>

【パスワード記載欄】	
GoogleアカウントID	セキュリティ(スタート画面):ロックNo.
@gmail.com	
Googleアカウントパスワード	セキュリティ(スタート画面):パスワード
x IDアカウントID	セキュリティ(スタート画面):パターン
	○ ○ ○
x IDアカウントパスワード	○ ○ ○
	○ ○ ○
FacebookアカウントID	○ ○ ○
	○ ○ ○
Facebookアカウントパスワード	○ ○ ○
	○ ○ ○

*アカウントやパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリーカードをセットしないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：写真／動画を起動した場合

1 ホーム画面→

2 アクセス権限の確認画面→**[許可しない]**／**[許可]**

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。



- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

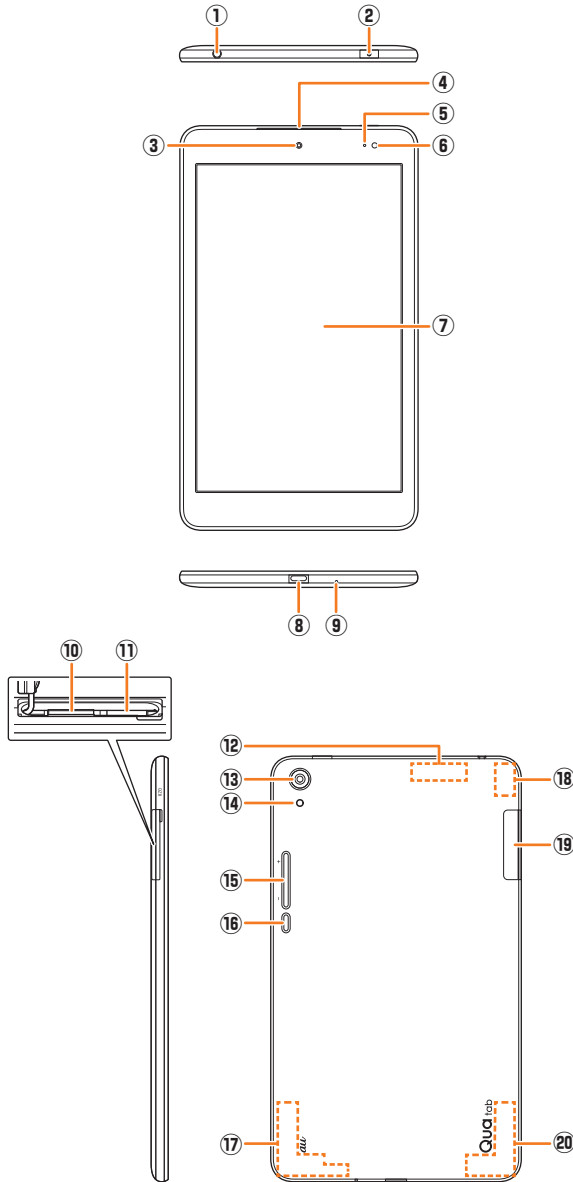
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、通知音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 新幹線の中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- カメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
x ICカードについて	19
x ICカードを取り付ける／取り外す	19
充電する	20
電源を入れる／切る	20
スタート画面について	21
初期設定を行う	21

ご利用の準備

各部の名称と機能



■カード挿入口カバーの開きかた



○部分に軽く爪をかけて開いてください。
奥まで爪を差し込むとパッキン部に傷を付けてしまうためご注意ください。

- ① イヤホンマイク端子
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
- ② 電源ボタン
電源オン/オフやスリープモードの移行/解除などに使用します。
- ③ インカメラ(レンズ部)
- ④ スピーカー
通知音やアラーム音などが聞こえます。
- ⑤ 通知(充電)ランプ
充電中は赤色で点灯します。
通知お知らせの設定内容に従って点滅します。
- ⑥ 光センサー
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを自動調整します。
- ⑦ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑧ 外部接続端子
TypeC共通ACアダプタ01(別売)などの接続時に使用します。
- ⑨ マイク
- ⑩ microSDメモ리카ードスロット
- ⑪ x ICカード挿入口
- ⑫ 内蔵メインアンテナ部*
- ⑬ アウトカメラ(レンズ部)
- ⑭ 撮影ライト
- ⑮ 音量上/下ボタン
音量を調節します。
- ⑯ カスタマイズボタン
「カスタマイズボタンを設定する」(▶P.60)で設定したアプリが起動します。
- ⑰ 内蔵サブアンテナ部*
- ⑱ 内蔵Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部*
- ⑲ カード挿入口カバー
- ⑳ 内蔵GPSアンテナ部*

* アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

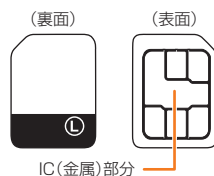
memo

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.20)をご参照ください。

x ICカードについて

本製品はx Nano IC Card 04 LEに対応しております。

x Nano IC Card 04 LE



memo

- ◎ x ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ x ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け/取り外しはしないでください。
- ◎ x ICカードを正しく取り付けていない場合やx ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したx ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたx ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

x ICカードが挿入されていない場合

x ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- ・ SMSの送受信
- ・ xメールの初期設定および送受信
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

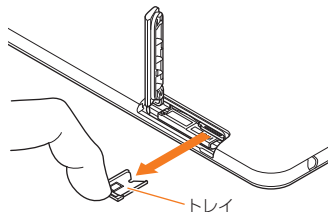
x ICカードを取り付ける／取り外す

- ・ x ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

x ICカードを取り付ける

1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

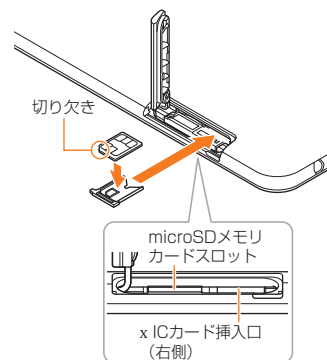
2 トレイの端に指などをかけ、トレイを引き出す



3 x ICカードの切り欠きの位置を合わせてトレイに載せ、トレイをx ICカード挿入口(右側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、指で奥まで押し込んでください。

- ・ IC(金属)部分を上にしてください。
- ・ x ICカードはトレイの端に乗り上げないように、無理な力を加えずにまっすぐ奥まで押し込んでください。トレイがうまく入らない場合は無理に押し込まず、一度抜いてから先端を少し浮かせて再度入れ直してください。トレイに乗り上げるとx ICカードを認識しません。

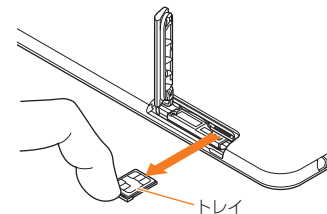


4 カード挿入口カバーを閉じる

x ICカードを取り外す

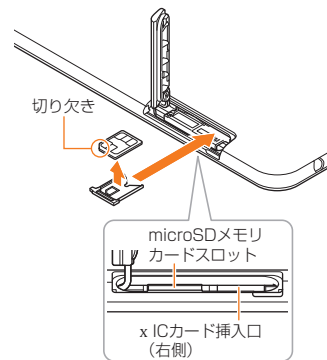
1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

2 トレイの端に指などをかけ、トレイを引き出す



3 x ICカードを取り出し、トレイをx ICカード挿入口(右側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、指で奥まで押し込んでください。



4 カード挿入口カバーを閉じる

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。本製品はQualcomm® Quick Charge™ 3.0 Technologyの急速充電に対応しています。

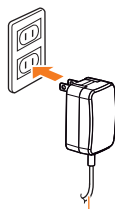
memo

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。電池の持ちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、xショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中に「100%」が表示された後でも、すぐに充電ランプが緑色に点灯しないことがあります。間もなくランプの色が緑色に変わり充電完了となります。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。
- ◎ 満充電状態が長時間続いた場合、バッテリーケアモードの通知が表示されます。

指定のACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ01(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.66)をご参照ください。

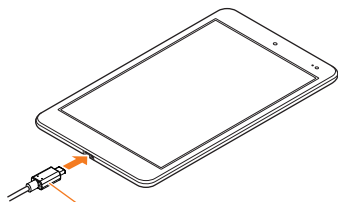
1 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



TypeC共通ACアダプタ01 (別売)

2 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



TypeC共通ACアダプタ01 (別売)

3 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

パソコンを使って充電する

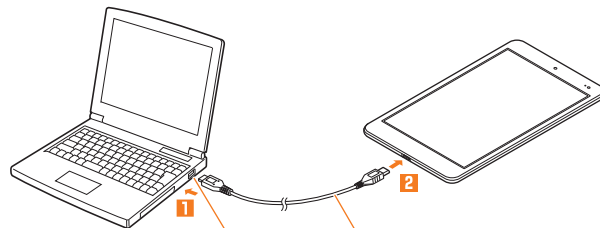
USB Type-Cケーブル(市販品)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。

- ・ パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート USB Type-Cケーブル(市販品)

3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル(市販品)を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くなることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 通知ランプが点灯するまで (電源ボタン)を長く押す

- スタート画面が表示されます(▶P.21)。
- ・ 初めて電源を入れたときは、「x初期設定」などの初期設定が起動します。「初期設定を行う」(▶P.21)を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 初回起動時に「x初期設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます(▶P.21)。

電源を切る

1 (電源ボタン)を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 (電源ボタン)と (音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押す

memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードについて

セーフモードとは、何らかの不具合により本製品に問題が生じたときのための診断用の起動モードです。

1 [電源ボタン]を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]をロングタッチ→[OK]

- セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
- セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
- お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

memo

- ◎ 電源が切れているときは、通知ランプが点灯するまで[電源ボタン]を長く押す→ロゴが表示されたら[音量下ボタン]を押し続けると、本製品をセーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードを解除するには、電源を切り、再度電源を入れます。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロック状態／ロック解除します。

1 [電源]

- 押すたびに画面がロック／ロック解除されます。
- ・ロックの解除方法やロック時間を変更することもできます(▶P.60)。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 画面をスライド／フリック

- ホーム画面が表示されます(▶P.24)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。
- マ画面下部に表示された[]をスライド／フリックすると、xx
- メール(▶P.34)／ブラウザ(▶P.40)／写真／動画(▶P.43)／カメラ(▶P.42)を起動します。
- ミ画面上部に「」が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」リティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- (P.60)が「パターン」／「」に設定されています。
- セ



《スタート画面》

- ① 時計表示
- ② 通知表示
- 各種お知らせを表示します。
- ・通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

memo

- ◎ 「セキュリティの種類」(▶P.60)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。
- ◎ 背景を変更したい場合は「ホーム画面の壁紙を変更する」(▶P.26)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に[電源ボタン]を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に[電源ボタン]

- スタート画面が表示されます(▶P.21)。
- ・本製品を置いた状態で、画面をダブルタップして、スリープモードを解除することができます(▶P.59「画面の設定をする」)。

memo

- ◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]と操作して、時間を選択します。
- ◎ スリープモード中に[電源ボタン]を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

- ・設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[使ってみる]

- ・「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。

2 本製品をセットアップする

- すでにご使用のAndroid端末からGoogleアカウントやアプリなどのコピーができます。

3 Wi-Fi®ネットワークを設定

- ・モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークを使用しない場合は、[セットアップ時にネットワークを使用しない]→[続行]と操作すると、名前の入力画面が表示されて入力した後に手順5に進みます。以降は画面の指示に従って操作してください。

4 Googleアカウントの設定を行う

5 タブレットの保護の設定を行う

6 Googleサービスの設定を確認する

7 その他の設定項目の設定を行う

8 位置情報取得について確認する 9

「x初期設定」を必要に応じて設定

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

■Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [その他の設定]→[アカウントを作成]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ログインできない場合

1 ホーム画面→[]→URL表示欄を選択→

「<http://www.google.com/accounts/recovery/>」を入力→[]

2 画面の指示に従って操作

memo

- ◎ Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

x IDを設定する

x IDを設定すると、xスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「xかんたん決済」の利用をはじめとする、x提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[x 設定メニュー]→[x ID]

2 [x IDの設定・保存]

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、x IDを設定

- x IDをすでに取得されている場合は、お持ちのx IDを設定します。 x IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
- 画面の指示に従って操作してください。

基本操作	24
タッチパネルの使いかた.....	24
ナビゲーションバーの使いかた.....	24
縦／横画面表示を切り替える.....	24
ホーム画面を利用する.....	24
ホームアプリを切り替える.....	26
アプリを起動する.....	26
本製品の状態を知る.....	27
最近使用したアプリを起動する.....	27
マルチウィンドウを利用する.....	27
マナーモードを設定する.....	28
メニューを表示する.....	28
スクリーンショットを撮影する.....	28
モバイル機器を充電する.....	28
文字入力	28
文字を入力する.....	28
文字入力の便利な機能を利用する.....	29
文字入力の各種設定を行う.....	29

基本操作

タッチパネルの使いかた

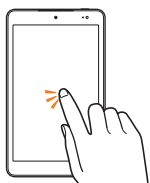
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

・ 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 水中での操作

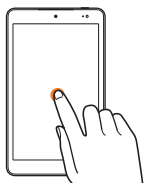
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



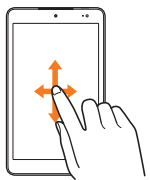
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



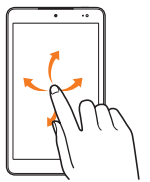
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



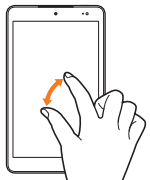
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



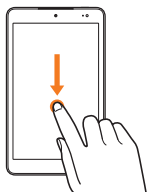
■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のボタンが表示されます。



◀ (戻る) : 1つ前の画面に戻ります。文字入力画面で「」が表示された場合は、タップするとキーボードやメニューを非表示にします。

◻ (HOME) : ホーム画面を表示します。ロングタッチすると、Googleを起動できます。

◻ (履歴) : 最近使用したアプリの一覧を表示します。アプリ起動中にロングタッチするとマルチウィンドウ(▶P.27)を起動できます。マルチウィンドウ起動中は「」に変わり、ロングタッチするとマルチウィンドウを終了します。

縦／横画面表示を切り替える

「画面の自動回転」をオンに設定すると、本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ディスプレイ]→「画面の自動回転」を「ON」にする

memo

- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

お買い上げ時のホーム画面には、タブレットでよく使うアプリがワンタッチで利用できる「xベーシックホーム」のホームアプリが設定されています。ホームアプリは切り替えることもできます(▶P.26)。

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

- ① ステータスバー
- ② ショートカット／フォルダ
- ③ インジケータ
- ④ クイック起動エリア



《ホーム画面 (xベーシックホーム)》

memo

◎ 本書では「xベーシックホーム」のホーム画面からの操作を例に説明しています。

クイック起動エリアを利用する

クイック起動エリアにはよく使うアプリが配置されます。お買い上げ時は、「」(サービスTOP)・「」(Chrome)・「」(xメール)・「」(写真/動画)・「」(カメラ)・「」(YouTube)が登録されています。

クイック起動エリアのアプリは、ホーム画面のどの画面でも固定で表示されます。

■ クイック起動エリアにアプリを追加する

1 ホーム画面→アプリをロングタッチ

2 クイック起動エリアにアプリをドラッグして、指を離す

memo

- ◎ クイック起動エリアのアプリを削除／非表示にするには、「アプリ／ウィジェットを削除する」(▶P.26)をご参照ください。
- ◎ クイック起動エリアのアプリを移動するには、アプリをロングタッチ→移動する位置にドラッグして指を離す、と操作してください。
- ◎ クイック起動エリアにフォルダを作成することもできます。アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねてください。

■ ホーム画面の主な アプリ／フォルダについて

ホーム画面には、よく使うアプリが表示されています。その他のアプリは、各フォルダにまとめられています。

ホーム画面を左右にスライド／フリックして、利用するアプリ／フォルダを選択してください。

アイコンの表示名	ページ
子どもロック	P.47
クックプラス	P.47
表示拡大モード	P.59
ディズニーパス ディズニー公式の壁紙、きせかえ、動画などが使い放題の月額サービス。x限定のコンテンツや、映画観賞券、グッズのプレゼントなど、お得な会員特典もあります。その他にも、x限定デザインのカバーもご用意。カバーに同梱のディズニーパス・カードからご登録いただくと、ディズニーパスが無料で楽しめます。	－
ブックパス 雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。	－
ビデオパス 幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	－
Play ストア	P.46
サービスTOP  ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、xのタブレットを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。	P.44
Chrome 	P.40
xメール 	P.34
写真／動画  内部ストレージ／microSDメモリーカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。	P.43
カメラ 	P.42
YouTube 	P.46
xスマートパス 「xスマートパスプレミアム/xスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなタブレットライフを提供します。	P.44
x災害対策 災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	P.58
My x My xはxのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。	P.44
Facebook 友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料の「実名制」コミュニケーションアプリです。	P.46
基本機能	
設定	P.58
天気 現在地や設定した都市の天気情報を確認できます。	－
連絡先	P.32
SMS	P.36
File Commander	P.51
音声レコーダー	P.48
Twitter Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。	－
Messenger [®] 友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループ チャット・ビデオチャットができる無料アプリです。	－
Instagram [®] 写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながることができるアプリです。	－
Google	
Google キーワードから本製品内やWebページを対象に検索できます。	－
Gmail	P.37
マップ	P.46
ドライブ Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。	－
Play Music	P.43
Playムービー＆TV	P.43
ハングアウト Googleのインスタントメッセージサービスです。メンバーとチャットを楽しむことができます。	－
フォト 撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Google+™にバックアップすることができます。	－
音声検索 端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。	－
時計	P.48
カレンダー	P.47
電卓	P.48

アイコンの表示名	ページ
x サポート	
データお預かり 写真などタブレットに保存されているさまざまなデータをxのサーバーに預けたり、microSDメモリーカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	－
x Wi-Fi接続ツール xの公衆無線LANサービス「x Wi-Fi SPOT」やxの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。	－
あんしんフィルター for x お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.45
故障紛失サポート タブレットの調子が悪いときのトラブル診断やかんたん検査、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。	P.45
取扱説明書 本製品の詳しい使いかたを確認できます。	P.1
x サービス	
x Market xスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	－
xシェアリンク スマホとタブレットを便利に使えるようにするアプリです。スマホへの電話着信やEメールなどの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使い方が可能です。	－
ニュースパス たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。	－
x WALLET x WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。x WALLET プリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、x WALLET クレジットカードの請求額の確認、xかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。	－
Player(LISMO) うたパスアプリをより便利にお楽しみいただくための音楽アプリです。	－
x WALLET Market x WALLET Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、「お買い物上手」なショッピングサービスです。	－
Wowma! for x 日用品・グルメ・ファッションから家電まで2800万品の品ぞろえからお買い物を楽しめるx公式のショッピングアプリです。	－
その他アプリ	
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	－
SATCH QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。	P.46
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	－
使い方ガイド Webサイトの「使い方ガイド」を利用できます。	P.1

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

- ◎ 各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。
- ◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションが表示される場合があります。

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する

アプリ、ウィジェット、フォルダをホーム画面に追加／移動／削除(非表示)することができます。

■ ウィジェット／フォルダを追加する

■ ウィジェットを追加する場合

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット]

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置にドラッグして、指を離す

ウィジェットの作成とアクセス許可画面が表示された場合は、「作成」をタップします。

■ フォルダを追加する場合

1 アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねる

フォルダが作成されます。



- ◎ 表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。
- フォルダについて**
- ◎ フォルダを選択→フォルダ名をタップ→フォルダ名を入力すると、フォルダ名を変更できます。
- ◎ フォルダを選択→アプリをロングタッチ→フォルダの外にドラッグすると、アプリをフォルダから移動できます。
- ◎ フォルダを選択→[📁]→[アプリをまとめて追加]→アプリを選択→[OK]と操作すると、複数のアプリをまとめてフォルダに追加できます。
- ◎ フォルダを選択→[📁]→[フォルダの背景色]→色を選択→[全てに適用]／[OK]と操作すると、フォルダの背景色を変更できます。
- ◎ アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

1 移動するアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

■ アプリ／ウィジェットを削除する

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す→[OK]

- ・ 削除したアプリは、本製品からアンインストールされます。アンインストールできないアプリは削除されません。

■ ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]

2 画面下部を左右にスライドして壁紙を選択→[壁紙を設定]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

- ・ 「画像を選択」をタップすると、本製品やmicroSDメモ리카ードに保存されている画像を壁紙に設定できます。

■ ホーム画面を設定する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[設定]

ホーム設定画面が表示されます。

2	ホーム画面のグリッド数	ホーム画面に配置するアイコンの数を変更します。
	ホーム画面のループスクロール	ホーム画面を左右にスライド／フリックしたときに、ループスクロールできるようにするかどうかを設定します。
	ドックのループスクロール	クイック起動エリアを左右にスライド／フリックしたときに、ループスクロールできるようにするかどうかを設定します。
	バックアップ／復元	ホーム画面のアプリやウィジェットなどのレイアウトをmicroSDメモ리카ードにバックアップしたり、microSDメモ리카ードに保存されているバックアップ情報からレイアウトを復元したりします。
	非表示リスト	非表示にしたアプリを一覧表示します。
	ホーム操作説明の再表示	ホーム画面の操作方法を再表示して確認することができます。
	ご意見・ご要望	ご意見やご要望を送信できます。
	ヘルプ	xベーシックホームのヘルプを表示します。
	ログ送信	xベーシックホームのログを送信するかどうかを設定します。
	バージョン	xベーシックホームのバージョンを確認します。

■ ホームアプリを切り替える

本製品のホームアプリを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ホーム切替]

ホーム切替画面が表示されます。

2	xベーシックホーム	▶ P.24「ホーム画面を利用する」
	標準ホーム	▶ P.26「標準ホームを利用する」

3 [OK]

■ 標準ホームを利用する

アプリやウィジェットを標準的なレイアウトで表示したホームアプリです。タブレットの操作に慣れている方におすすめです。

1 ホーム切替画面→[標準ホーム]→[OK]

標準ホーム画面が表示されます。左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



- ◎ 標準ホームからお買い上げ時のホーム画面(xベーシックホーム)に戻すには、標準ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ホーム切替]→[xベーシックホーム]→[OK]と操作します。

■ アプリを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面→起動するアプリ／フォルダをタップ

- ・ フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。

① フォルダ

タップするとフォルダごと分類されたアプリが表示されます。



《ホーム画面》

《フォルダ内のアプリ一覧》

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	新着メールあり (SMS)
	新着メールあり (xメール)
	新着メールあり (Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中 (Player (LISMO))
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	VPN接続中
	ソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたはBluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリーカードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 100% / 残量なし / 充電中 / バッテリーケアモード設定中
	電波の強さ・通信状態 (LTE / WiMAX 2+) レベル4 / 圏外 / 通信中 LTE / WiMAX 2+使用可能*
	機内モード設定中
	SIMカード未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 / レベル0
	アラーム設定あり
	通知の音量0
	マナーモードの状態 サイレント設定中 / アラームのみ設定中 / カスタマイズ設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中 / 接続中
	GPS利用中
	データセーバー設定中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

① 日付時刻のエリア

② ON/OFF設定アイコン

よく使う機能のオン／オフなどを設定します。
下にフリックすると表示されていない項目を表示できます。

アイコンをロングタッチすると、各機能の設定をすることができます。

③ お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

④ 設定メニューアイコン

ON/OFF設定アイコンのエリアを表示しているときに表示されます。アイコンをタップすると「設定メニュー」(▶P.58)が表示されます。



memo

- ◎ 通知パネルを上にもスライドすると、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 通知を消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。画面右下の「すべて消去」をタップすると、通知がすべて消去されます。ただし、消去できない通知もあります。

最近使用したアプリを起動する

をタップすると、最近使用したアプリ表示の一覧が重なって表示されます。

1

最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。

2 使用するアプリをタップ

memo

- ◎ 一覧からアプリを削除するには、操作2で削除したいアプリを左右にフリックまたは「×」をタップします。「」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。

画面固定モードについて

- ◎ 「画面の固定」(▶P.61)がオンの場合、「」をタップすると画面にアプリを固定して、他のアプリを利用できないようにすることができます。固定を解除するには、「」と「」を同時にロングタッチします。

- ◎ 第三者による位置検索ができなくなります。

- ◎ 他のアプリが正しく動作せず、また通知が表示されない場合があります。

マルチウィンドウを利用する

アプリ起動中に をロングタッチすると、画面を分割して複数のアプリを同時に表示できます。

1 アプリ起動中に をロングタッチ

画面が2分割されます。

- ・ をロングタッチすると、マルチウィンドウを終了します。

- ・ 画面中央の を上下にスライドすると、画面の分割幅を変更できます。画面端までスライドすると、マルチウィンドウが終了します。

memo

- ◎ アプリによってはマルチウィンドウに対応していない場合があります。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

2 [マナーモード]

マナーモード設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



- ◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、タイマー音は鳴動します。
- ◎ マナーモード設定中に消音の状態ではデータが再生された場合、機能によっては、再生中に(+) (音量上ボタン) / (-) (音量下ボタン) を押すと音量を調節できます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「[■]」や「[■]」、「[■]」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

(電源ボタン)と(音量下ボタン)を同時に1秒以上長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。



- ◎ (電源ボタン)と(音量下ボタン)を1秒以上長く押す→[スクリーンショット]と操作しても、スクリーンショットを撮影できます。
- ◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「写真/動画」(▶P.43)で確認できます。
- ◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

モバイル機器を充電する

お手持ちのスマートフォンの電池がなくなってきた際には、本製品とUSBケーブルで接続することで、スマートフォンの予備バッテリーとしても使えます。家族や友達のスマートフォンにも給電できます。

1 充電したい端末が接続されたUSB Type-Cケーブル(市販品)を、本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 [OK]

3 ステータスバーを下にスライド

4 [この端末をUSBで充電]→[接続しているデバイスを充電する]



- ◎ 充電したい端末の外部接続端子がType-Cの場合は、京セラType-C充電ケーブル(01KYHAA)(別売)をご使用ください。
- ◎ 本機能を使用する前に本製品を充電してください。電池残量が少ないと充電できない場合があります。
- ◎ 長いケーブルをご使用すると充電できない場合があります。また、ハブや変換コネクタを介しても充電できない場合があります。
- ◎ すべての端末との充電を保証するものではありません。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面(ケータイ配列)→をロングタッチ→の方向へドラッグ→[Google日本語入力設定]

Google日本語入力設定画面が表示されます。

2 [キーボードレイアウト]→入力キーボードを左右にフリックして選択

キーボードが切り替わります。詳細は「ケータイ配列/QWERTY/Godanキーボードで入力する」(▶P.28)をご参照ください。

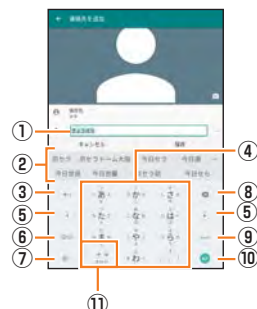


- ◎ 文字入力画面(ケータイ配列/QWERTY/Godanキーボード)で画面右下に表示されている「」をタップすると、「Google音声入力」と「日本語(通常のキーボード)」に切り替えられます。
- ◎ 文字入力画面(ケータイ配列/QWERTY/Godanキーボード)で画面左下に表示されている「」をロングタッチして「」の方向へドラッグすると、片手モードを設定できます。

ケータイ配列/QWERTY/Godanキーボードで入力する

■ 文字入力画面(ケータイ配列)

一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.29)をご参照ください。



《文字入力画面(ケータイ配列)》

■ 文字入力画面(QWERTY)

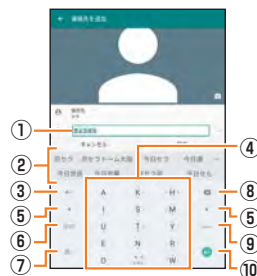
一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



《文字入力画面(QWERTY)》

■ 文字入力画面(Godanキーボード)

50音順に文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。



《文字入力画面(Godanキーボード)》

- ① 文字入力エリア
- ② 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト
文字を入力して「」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。
・「」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「」をタップします。
- ③ バックボタン／戻すボタン／音声入力ボタン
: 同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
ケータイ配列で文字未入力時やQWERTY／Godanキーボードで「」をタップすると、音声入力ができます。
- ④ ソフトウェアキーボード
各キーに割り当てられた文字を入力できます。
- ⑤ カーソルボタン
カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。
- ⑥ 絵文字・テンキーボタン*
: テンキーを表示します。「」をタップすると、絵文字一覧が表示されます。
※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。
- ⑦ 文字種切替ボタン
入力する文字種を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。
: ひらがな漢字入力
: 半角英字入力
- ⑧ 削除ボタン
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。
- ⑨ 変換ボタン／スペースボタン
文字入力後は変換候補の切り替え、文字入力前はスペースを入力します。
- ⑩ 確定ボタン／Enterボタン
文字入力時は入力中の文字を確定します。文字未入力時はカーソルの位置で改行します。
- ⑪ 大文字／小文字切替ボタン
ひらがな／カタカナ入力時に「」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
英字入力時に「」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「ケータイ配列」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをタップすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

- 1 文字入力画面(ケータイ配列／QWERTY／Godanキーボード)→→

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

- 2 絵文字／記号／顔文字を選択

絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

: 文字入力画面に戻る

: 選択した文字やカーソルの左の文字の削除



◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→／をドラッグして、範囲を選択
- 2 [切り取り]／[コピー]
- 3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→カーソルをロングタッチ→[貼り付け]
貼り付け一覧画面が表示されます。
- 4 貼り付ける文字を選択

文字入力の各種設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーションなどを設定できます。

- 1 文字入力画面(ケータイ配列)→をロングタッチ→の方向へドラッグ→[Google日本語入力設定]

- 2 各種項目を設定

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

- 1 Google日本語入力設定画面→[辞書ツール]
ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

- 2 

- 3 読み／単語を入力→[OK]



◎ 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語をロングタッチします。
◎ ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語にチェックを入れる→と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→→[現在の辞書を削除]と操作すると、表示中の辞書を削除できます。

連絡先.....32

 連絡先について.....32

 連絡先を登録する.....32

 連絡先を編集／削除する.....32

 連絡先をインポート／エクスポートする.....32

連絡先

連絡先について

連絡先の各種情報が表示されます。

memo

- ◎ 連絡先に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 「アカウントの設定をする」(▶P.61)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください)。

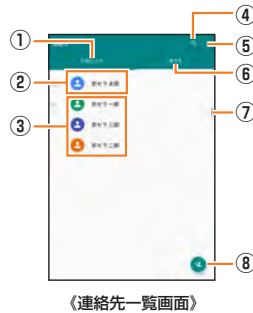
連絡先を登録する

1 ホーム画面→[基本機能]→[連絡先]→「すべて」をタップ

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。

- 1 お気に入り
タップすると「お気に入り」に登録した連絡先が表示されます。
- 2 プロフィールを設定
自分の電話番号などのプロフィールを登録できます。
- 3 連絡先に登録された写真・名前
タップすると、連絡先の詳細表示画面が表示され、次の操作ができます。
 - ・[お気に入り]をタップすると[お気に入り]に変わり、連絡先をお気に入りに登録できます。
 - ・[編集]をタップすると、連絡先を編集できます(▶P.32)。
 - ・[削除]をタップすると、共有ツールの選択や連絡先の削除、連絡先の統合／分割、ホーム画面への連絡先ショートカットの追加などができます。
- 4 検索
登録されている連絡先を検索します。
- 5 メニュー
インポート／エクスポート、表示する連絡先の設定などができます。
- 6 すべて
すべての連絡先が表示された一覧画面が表示されます。
- 7 スクロールバー
ドラッグして表示範囲の移動をすることができます。
- 8 新規作成
連絡先を登録します。



2 [お気に入り]

- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

3 必要な項目を入力

- ・各項目をタップすると項目を入力できます。入力中または入力後に「×」をタップすると、項目を削除できます。
- ・項目によっては、「▼」をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。

4 [保存]

memo

- ◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎ 同期するアカウントによって、設定できる項目が異なります。

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

- 1 編集する連絡先の詳細表示画面→[編集]
連絡先編集画面が表示されます。
- 2 項目を選択して編集
- 3 [保存]

連絡先を削除する

- 1 削除する連絡先の詳細表示画面→[削除]→[削除]
- 2 [削除]

memo

- ◎ 内部ストレージの空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。
- ◎ 連絡先一覧画面で削除したい連絡先をロングタッチすると[削除]が表示され、連絡先を複数選択して[削除]→[削除]で複数削除することができます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリーカードからインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリーカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→[インポート／エクスポート]

■ 内部ストレージ／SDカードからインポートする場合

2 [.vcfからインポート]

- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

3 [本体]→[最近]／[ダウンロード]／[SDカード]→インポートする連絡先ファイルを選択→[OK]

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリーカードへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[インポート／エクスポート]

2 [.vcfにエクスポート]

3 [メニュー]→保存先を選択→[保存]

xメール	34
xメールのご利用にあたって	34
画面の見かた	34
xメールを送信する	34
xメールを受信する	34
迷惑メールフィルターを設定する	35
SMS	36
SMSを送信する	36
SMSを受信する	36
SMSを返信／転送する	36
SMSを保護／保護解除する	36
SMSの電話番号を連絡先に登録する	36
SMSを検索する	36
SMSを削除する	37
SMSを設定する	37
Gmail	37
Gmailを起動する	37
Gmailを送信する	37
Gmailを受信する	37

xメール

xメールのご利用にあたって

- xメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、xショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- xメールサービス詳細は、xホームページをご参照ください。
<https://www.x.com/mobile/service/smartphone/communication/email/xmailapp>

xメールの初期設定について

- xメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。



- ◎ xメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。詳しくは、x総合カタログおよびxホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、xメールの送受信に時間がかかることがあります。

画面の見かた

一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。



- ① メニュー(Eメール設定など)が表示されます。
- ② 受信したメールが格納されます。
- ③ 送信したメールが格納されます。
- ④ 下書き、未送信のメールが格納されます。
- ⑤ 90日以前に受信したメールが格納されます。
- ⑥ 削除したメールが格納されます。
- ⑦ アドレス帳に登録されている人とのメールが表示されます。
- ⑧ xとのメールが表示されます。
- ⑨ 端末に保存したメールが格納されます。
- ⑩ メールを新規作成します。
- ⑪ メールを検索します。



- ◎ 受信したメールは受信から90日が経過すると90日以前のメールボックスに移動されます。
- ◎ 重要なメールは保存フォルダに保存(コピー)することができます。
- ◎ フィルタとは、アドレス帳登録者からのメールなど、条件にあったメールのみ閲覧できる機能です。

xメールを送信する



- ① 宛先を入力します。
- ② CC、BCCの宛先を入力します。
- ③ 件名を入力します。
- ④ 本文を入力します。
- ⑤ メールにデータ(写真など)を添付します。
- ⑥ 送信します。

1 ホーム画面→[x メール]

2 [作成]

上記の送信メール新規作成画面が表示されます。

3 ①[To]→宛先を入力

4 ③[件名]→件名を入力

5 ④本文入力欄をタップ→本文を入力

6 [送信]

xメールを受信する

受信ボックス(新着順表示画面)



- ① 表示方法を送信者別(送信元メールアドレス単位にまとめて表示)、新着順(受信した順番に表示)を選択します。
- ② 新着順にメールを一覧表示します。
- ③ メールの返信、転送、フラグ付けを行います。

受信ボックス(送信者別表示画面)



- ① 表示方法を送信者別(送信元メールアドレス単位にまとめて表示)、新着順(受信した順番に表示)を選択します。
- ② 送信元メールアドレス単位にまとめて表示されます。

受信詳細画面



- ① 本メールに返信・転送します。
- ② 本メールにフラグをつけます。
- ③ 本メールを削除(ゴミ箱へ移動)します。
- ④ 本メールのコピー編集・保存・迷惑メール報告などをします

1 ホーム画面→[x メール]

2 [受信]

受信メール一覧画面が表示されます。

3 閲覧したいメールをタップ

上記の受信メール詳細表示画面が表示されます。

- ・送信者別表示画面の場合は、送信者をタップしてから閲覧するメールをタップします。

memo

- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信したメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHS などになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 [≡]→[アドレス変更/迷惑メール設定]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

オススメ設定をする		とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メールエグリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のxメールアドレス」またはその一部(@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 アドレス帳受信設定へ:「xアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者毎にメールを一括で受信／拒否します。

個別設定	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※ 「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メールエグリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウイルスメール規制: 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、xのホームページでご確認ください。

memo

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウイルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」は、自動転送されてきたメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるメールの中にHTML形式で記述されているメールが含まれる場合、それらのメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

SMS

「SMS」アプリはx電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
x電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [✚]

SMS作成画面が表示されます。

- ・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[国]→連絡先から相手先を選択することもできます。

- ・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※連絡先から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1530文字まで入力できます。

※国内・海外他事業者宛には全角最大70 / 半角最大160文字まで送信できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

memo

◎メッセージ作成中に[✚]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。

◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、x電話に送信した場合でも、受信側のx電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などでまれに送信したメッセージに[国旗]が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、xホームページをご参照ください。

<https://www.x.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには「●」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。

◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。

◎内部ストレージが不足した場合、SMSを正しく受信できません。

◎データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[国]→連絡先から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

- ・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択して「1回のみ」／「常時」をタップしてください。

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 本文中のメールアドレスをタップ

3 アプリを選択してメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには「🔒」が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [国]→[アドレス帳への登録]→[OK]

連絡先一覧画面が表示されます。「新しい連絡先を作成」または追加する連絡先をタップしてください(▶P.32「連絡先を登録する」)。

- ・スレッド一覧画面→登録する相手先の「国」をタップ→[はい]と操作しても連絡先一覧画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[🔍]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごとに削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [■]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [■]→[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [■]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

2 [■]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3	通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。OFFに設定すると、着信音、バイブレーション、LEDもOFFになります。 [差出人・本文]／[差出人]／[通知のみ]／[OFF]→[OK]
	着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]
	バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／[パターンを選択]→[OK]
	LED	SMS受信時に通知ランプを点滅するかどうかを設定します。
	文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 [特大]／[大]／[中]／[小]／[極小]→[OK]
	署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
	署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20／半角45文字まで)を入力→[設定]
	受信フィルター	▶P.37「受信フィルターを設定する」
	送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに[✓]を表示させるかどうかを設定します。
	テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト]／[ブラック]／[ピンク]／[グリーン]／[ブルー]／[オレンジ]→[OK]



◎ SMS設定メニュー→[■]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMSの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]

2	指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
	指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加] ・[■]をタップすると、連絡先から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[■]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
	アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

Gmail

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。
- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- ・ サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。

- ・ 画面の左端を右方向へスライドするか、[■]をタップすると、アカウントの切り替え、アカウントごとのフォルダ選択や設定ができます。アカウントをタップしてアカウントを追加することもできます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→下方向にスライド

Gmailを送信する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

2 [✕]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→本文を入力

6 [➤]

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに[■]が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

■ 送信者に返信する場合

2 返信するメールを選択→[返信]

3 本文を入力

4 [➤]

■ 全員に返信／転送する場合

2 全員に返信／転送するメールを選択→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

4 [➤]

Gmailのメニューを利用する

メール一覧画面で左端のイニシャルアイコンや画像をタップしてメールを選択状態にすると、削除、未読に変更などメールを操作できます。メール内容表示画面の右上にある[■]をタップするとメニューが表示され、選択したメールの移動や印刷などを操作できます。

インターネット

インターネット接続.....	40
インターネットについて.....	40
ブラウザ(Chrome)	40
Webページを表示する.....	40
ブックマーク／履歴を利用する	40

インターネット接続

インターネットについて

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.40「データ通信を利用する」)
- Wi-Fi®(▶P.55「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)



memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作します。



memo

◎データ通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のx総合カタログ/xのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.x.com/support/>

ブラウザ(Chrome)

Google Chromeを利用して、Webページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面→[🌐]

Webページが表示されます。

初めて起動したときは、利用規約とプライバシーに関する確認やアカウント設定などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



memo

◎非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

Webページを移動する

Webページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 Webページ→URL表示欄をタップ

- URL表示欄が表示されていない場合は、画面を下方向にスライドすると表示されます。

2 URL表示欄にキーワード/URLを入力→[🔍]

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。

Webページのメニューを利用する

Chromeのメニューから、新しいタブを開いたり、ブックマーク画面や履歴についての操作を行うことができます。

1 Webページ→[⋮]

Webページのメニューが表示されます。

Webページの文字サイズを変更する

1 Webページ→[⋮]→[設定]

2 [ユーザー補助機能]→「テキストの拡大と縮小」のスライダを左右にドラッグする

- 文字サイズはスライダを左方向にドラッグすると小さくなり、右方向にドラッグすると大きくなります。

リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。

ブックマーク/履歴を利用する

ブックマークを利用する

1 Webページ→[⋮]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークを選択



memo

◎ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 Webページ→[☆]

履歴を利用する

1 Webページ→[⋮]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 利用する履歴を選択



memo

◎履歴画面で「🗑️」をタップすると、履歴から消去できます。

アプリケーション

カメラ	42
カメラをご利用になる前に	42
撮影画面の見かた	42
撮影前の設定をする	42
静止画を撮影／動画を録画する	43
写真/動画	43
データを再生する	43
静止画を編集する	43
Play Music	43
音楽データを再生する	43
Playムービー&TV	43
Playムービー&TVを利用する	43
xサービスTOP	44
xサービスTOPを利用する	44
xスマートパス	44
xスマートパスを利用する	44
My x(お客さまサポート)	44
My xを利用する	44
xスマートサポート	44
xスマートサポートでできること	44
位置検索サポート	44
位置検索サポートについて	44
位置検索をご利用いただくにあたって	44
遠隔操作サポート	45
遠隔操作サポートを利用する	45
故障紛失サポート	45
故障紛失サポートを利用する	45
あんしんフィルターfor x	45
あんしんフィルターfor xを利用する	45
QR・バーコードリーダー	46
Androidアプリ	46
Google Playを利用する	46
アプリケーションを管理する	46
YouTube	46
YouTubeを利用する	46
Facebook	46
Googleサービス	46
Googleマップを利用する	46
子どもロック	47
子どもロックを利用する	47
子どもロックを設定する	47
クックプラス	47
クックプラスを利用する	47
カレンダー	47
カレンダーを利用する	47
時計	48
アラームを利用する	48
タイマーを利用する	48
ストップウォッチを利用する	48
世界時計を利用する	48
電卓	48
電卓を利用する	48
音声レコーダー	48
音声レコーダーを利用する	48

カメラ

カメラをご利用になる前に

本製品はアウトカメラとインカメラで静止画や動画の撮影ができます。撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリーカードまたは内部ストレージに保存されます。

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。
- ・撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。

特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。

- ・また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体

- ・撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、通知音などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面→[📷]

モニター画面が表示されます。



《モニター画面(タブレットスタイル)》

- ① 位置測位中／位置情報付加
- ② オートフォーカス枠*
オートフォーカスしたときに表示されます。
* 操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。
- ③ ズーム
画面上でズームイン／ズームアウトしたり(+) (音量上ボタン) / (-) (音量下ボタン) を押したりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。
- ④ 設定アイコン(⚙️)
カメラを設定します(▶ P.42「撮影前の設定をする」)。
- ⑤ フラッシュ
🔴 (OFF) 🔴 (ON) 🔴 (オート) 🔴 (照明)
- ⑥ カメラ切り替え
- ⑦ 撮影(シャッター)
- ⑧ 録画／停止
- ⑨ 直前に撮影／録画したデータ
直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。
モニター画面に戻る場合は、🔴 をタップします。

撮影前の設定をする

1 モニター画面→[📷]

カメラ設定画面が表示されます。

- ・モニター画面が縦画面の場合は右、横画面の場合は上下にフリックしても表示されます。

2	おまかせ	自動できれいな写真を撮影します。
	マニュアル	撮影条件を細かく設定して撮影できます。
	モード	エフェクト いろいろなエフェクトの撮影ができます。
		タイムラプス 一定間隔で撮影した画像をつないで動画にします。 ・音声は録音されません。光源によってはフリッカ(ちらつき)が発生することがあります。
		夜景 夜景の撮影に適しています。
		スポーツ 動きの速い被写体の撮影に適しています。
	サイズ	静止画／動画のサイズを選択します。
	HDR	露出レベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成することで、白飛びや黒つぶれを防いだ画像を撮影することができます。 「OFF」「ON」「オート」 ・「オリジナル画像を保存」にチェックを入れると、オリジナルの画像も保存します。
	手ブレ補正	手ブレ補正の設定を切り替えます。 「OFF」「ON」「オート」
	撮影補助ライン	撮影補助ラインを表示するかどうかを設定します。
	セルフタイマー*	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 ・カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。 ・カウントダウン中に📷をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。 ・インカメラに切り替えると、セルフタイマー「2秒」に設定されます。
	その他の設定	位置情報付加 設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
		音量キー (+) (音量上ボタン) / (-) (音量下ボタン) をズームで使用するか、静止画／録画シャッターで使用するかを設定します。
		保存先 保存先を設定します。 「本体」「SDカード」
		水準器 水準器を表示するかどうかを設定します。
		レイアウト変更 タブレットの持ちかたでシャッターボタンが押せるように、タブレット専用のレイアウトに設定したり、レイアウトをカスタマイズすることができます。
		初期設定に戻す カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

* 静止画撮影の場合のみ

静止画を撮影／動画を録画する

■ 静止画を撮影する場合

1 モニター画面→画面をタップ

タップしたところにピントが合います。

- ・「」をロングタッチすると連写撮影ができます。
- ・モニター画面をロングタッチするとフォーカスロックされます。

2

撮影したデータは自動的に保存されます。

- ・設定した撮影モードにより「」が表示されていないときは、静止画の撮影はできません。

■ 動画を録画する場合

1 モニター画面→

録画が開始されます。

- ・設定した撮影モードにより「」が表示されていないときは、動画の録画はできません。
- ・録画中に「」をタップすると、静止画を撮影できます。

2

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。



- ◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ 録画中はマイクでのみ、録音できます。

写真/動画

写真/動画は、内部ストレージ／microSDメモリカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

データを再生する

1 ホーム画面→

① 表示カテゴリ名

② カテゴリ切り替えアイコン

表示カテゴリを切り替えることができます。

- ・その他のアプリで「カメラ」をタップすると、カメラを起動できます。

③ 保存年月

データを保存した年月が表示されます。

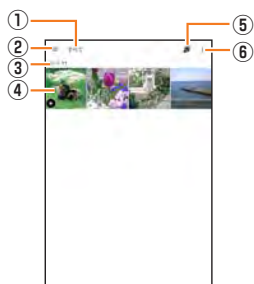
④ 保存データ

⑤ 月別表示の切り替え

月別に分けてデータを表示します。

⑥ メニュー

表示中の各画面で、メニューが表示されます。データの選択やスライドショーなどの操作ができます。



《データ一覧画面》

2 データを選択

データが再生されます。



- ◎ 写真/動画で表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

静止画を編集する

静止画を編集できます。編集可能なファイル形式は、.jpg形式、.png形式などです。データによっては利用できない場合があります。

1 データー一覧画面→データを選択

2 画面をタップ→

3 編集に使用するアプリを選択

4 画面下部のアイコンで編集

5 [保存]

Play Music

音楽データを再生する

音楽やプレイリストなどを再生できます。

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリ別に表示して再生できます。

- ・音楽再生中に「microSDメモリカードを取り外す」(▶P.50)ことは行わないでください。

音楽を再生する

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 →[音楽ライブラリ]

アイテムのリスト画面が表示されます。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ



- ◎ 音量は、 (音量上ボタン) /  (音量下ボタン) で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 →[音楽ライブラリ]

3 →検索する曲の情報を入力

プレイリストを作成する

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 →[音楽ライブラリ]→「アルバム」／「曲」／「ジャンル」タブをタップ→アルバム／曲の「」をタップ→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリスト]

3 タイトルと説明を入力→[プレイリストを作成]



- ◎ プレイリストに曲を追加するには、操作②で「プレイリストに追加」をタップした後、追加したいプレイリストを選択してください。

- ◎ プレイリストを削除するには、ホーム画面→[Google]→[Play Music]→→[音楽ライブラリ]→「プレイリスト」タブをタップ→プレイリストの「」をタップ→[削除]→[OK]と操作します。なお、曲は削除されません。

Playムービー&TV

Playムービー&TVを利用する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を視聴したりできます。

- ・ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[Playムービー&TV]

2 視聴する動画をタップ

画面の指示に従って操作してください。

xサービスTOP

xサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「xスマートパス」や「x WALLET」などのxの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。x WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- ・ 利用方法、最新のお知らせについては、「xサービスTOP」アプリをご参照ください。

memo

- ◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[サービスTOP]

- xサービスTOPのホーム画面が表示されます。
- ・ xサービスTOPのご利用にはx IDのログインが必要です。
x IDについて詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
 - ・ 初めて起動したときは、基本設定画面などが表示されます。
内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
 - ・ ニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、x WALLET情報、各種xサービスの特典情報などが表示されます。
 - ・ 設定内容はxサービスTOPのホーム画面で[メニュー]→[設定]と操作すると変更ができます。

memo

- ◎ お客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

xスマートパス

xスマートパスを利用する

「xスマートパスプレミアム」/「xスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんなにスマホライフを提供します。

- ・ 利用方法、最新のお知らせについては、「xスマートパス」アプリをご参照ください。

memo

- ◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[x スマートパス]

- xスマートパスTOPページが表示されます。
- ・ xスマートパスアプリのご利用にはx IDのログインが必要です。
x IDについて詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
 - ・ 初めて起動したときは、利用権限の概要、初期設定などの画面が表示されます。
内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
 - ・ 設定内容はサイドメニュー*の「設定」から変更ができます。
- * サイドメニューを表示するには画面左下の「」をタップしてください。

My xお客さまサポート)

My xを利用する

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、My xのWebサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- ・ 利用方法などの詳細については、My xアプリ起動中に[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してMy xのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[My x]

- My xのトップ画面が表示されます。
- ・ 初めて起動したときは画面の指示に従ってログインしてください。
 - ・ 「端末管理アプリ」を有効にする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- * 「端末管理アプリ」を有効にすることで、本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターから遠隔操作でロックする機能をご利用いただけます。

2 確認する項目を選択する

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

xスマートサポート

xスマートサポートでできること

24時間365日体制^{*1}のxスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート(リモートサポート)」を利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧に説明する「スマホ訪問サポート^{*2}(8,500円～14,500円/回、税抜)^{*3}」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{*4}」プレゼントなど、安心してタブレットをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ・ ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、xホームページ(<https://www.x.com/>)でご確認ください。

- *1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
- *2 訪問先はお客様のご契約住所に限りです。また、別途交通費がかかる地域がございます。
- *3 コースにより料金異なります。コースやメニューの内容はxホームページをご確認ください。
- *4 4本のプレゼントは一回限りとなります。

memo

- ◎ 「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポート」(▶P.45)をあわせてご参照ください。

位置検索サポート

位置検索サポートについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

* 本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、xスマートサポートまたはxスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

memo

- ◎ ご利用の際には、端末管理アプリで「My x」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
- ◎ My xのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上の注意

- ・ My xに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。
- ・ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

遠隔操作サポート

ご利用にあたってはxスマートサポートまたはxスマートバス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

タブレットの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

遠隔操作サポートを利用する

1 お客さまセンター、xスマートサポートセンターまでお問い合わせ

xスマートバス会員は局番なしの157番(x電話から/通話料無料)、
☎0077-7-111(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。
xスマートサポート会員は、xスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の
「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[x 設定メニュー]→[コミュニケーターが遠隔操作でサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障紛失サポート

故障紛失サポートを利用する

「故障かな?」と思ったときのトラブル診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面→[x サポート]→[故障紛失サポート]

トップメニュー画面が表示されます。
・初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2	トラブル診断	お客様ご自身で診断することができます。質問に答えていくと、トラブルの対処方法が見つかります。 調子が悪いと思ったら、まずは診断!
	オンライン交換受付	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
	故障相談受付	簡単操作で、故障相談窓口となる「故障紛失サポートセンター」へお電話をおこなえます。
	データ移行アプリ	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。

memo

- ◎「」をタップするとサイドメニューが開きます。
トップメニュー画面の4機能へのアクセスに加え、本製品の機能の診断などいくつかのメニューを提供しています。
- ◎各機能利用中にトップメニュー画面に戻るときはサイドメニューの「トップ」をタップしてください。

あんしんフィルターfor x

あんしんフィルターfor xを利用する

お子様にxの端末を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なWebページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のWebページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、夜間などタブレットのご利用を制限したりすることもできます。
・x IDでご利用の場合はx IDが必要で、x IDの設定方法については「x IDを設定する」(▶P.21)をご参照ください。

1 ホーム画面→[x サポート]→[あんしんフィルターfor x]

初めて起動したときは、アクセス権限画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [x 電話番号でログイン]/[x IDでログイン]

画面の指示に従って操作してください。

※ ご利用になるお子様のx 電話番号もしくはx IDでログインしてください。

※ 旧サービス「安心アクセス」から継続でご利用されるお子様の場合のみ、x IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生プラス	・ お子様の閲覧に不適切なサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。
「端末管理アプリ」を有効にする画面が表示されます。

6 [この端末管理アプリを有効にする]

Webページが表示されます。

■ 管理者情報を有効にする

1 ホーム画面→[x サポート]→[あんしんフィルターfor x]

2 [管理者登録]

・ 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルターfor xの管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※ 以下の手順でお子様のxの端末から利用することも可能です。

1 ホーム画面→[x サポート]→[あんしんフィルターfor x]

2 []→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

4	<table><tr><td>管理者情報</td><td>管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。</td></tr><tr><td>端末情報</td><td>管理しているタブレットの名前を設定できます。</td></tr><tr><td>フィルタリング設定</td><td>年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。</td></tr></table>	管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。	端末情報	管理しているタブレットの名前を設定できます。	フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。
管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。						
端末情報	管理しているタブレットの名前を設定できます。						
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。						



- ◎ 詳しくはxホームページをご参照ください。
<https://www.x.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

QR・バーコードリーダー

「SATC VIEWER」を利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[SATC]→[いますぐSCAN]／[QR／バーコードを読み取る]

- ・ 初回起動時は、アンケートなどが表示されます。
内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。



- ◎ SATC VIEWERではQR・バーコードリーダー以外にも、AR(Augmented Reality)を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATC VIEWERアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

Androidアプリ

Google Playを利用する

- ・ Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Play ストア]

- Google Play画面が表示されます。
利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

- アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
- ・ アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[スタート画面とセキュリティ]→「提供元不明のアプリ」を選択

2 注意文を確認し[OK]

YouTube

YouTubeを利用する

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 ホーム画面→[YouTube]

- 新機能の紹介画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択



- ◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
- ◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→**[F]**→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Facebook

Facebookを利用して、友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりなどができます。

- ・ Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。

<http://www.facebook.com/>

1 ホーム画面→[Facebook]

2 メールアドレスまたは携帯番号を入力→パスワードを入力→[ログイン]

- アカウントをお持ちではない場合は「FACEBOOKアカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Googleサービス

マップやカレンダーなどGoogleが提供するアプリやサービスを利用することができます。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面→[Google]→[マップ]

- Googleマップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎ Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信／GPS機能を有効にする必要があります。
- ◎ 指定のACアダプタ(別売)やUSB Type-Cケーブル(市販品)による充電中は、電流による磁気の影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類から外してご使用ください。
- ◎ 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらが無い場所に移動してから計測してください。
 - 建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
- ◎ 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- ◎ 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
 - 方位計の起動直後や、本製品を強い磁力に近づけた場合
 - 急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
 - 本製品が磁気を帯びた場合
- ◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 地点情報をタップ→画像をタップ
ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [🔍]

- マップ画面の検索した場所に「📍」が表示されます。
- 「📍」をタップすると、検索した場所の詳細情報を確認できます。
- キーワード入力欄の「✕」をタップすると、検索を終了できます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 カテゴリをタップ

- カテゴリをタップすると、マップ画面に選択したカテゴリの場所を示すアイコンが表示されます。目的の場所のアイコンをタップし、「📍」をタップすると、詳細情報を確認できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[📍]

2 [🚗] (車) / [🚏] (公共交通機関) / [🚶] (徒歩) / [🚲] (配車)

3 「目的地を入力」に目的地を入力→[🔍]

- 画面上部には出発地・目的地の情報、マップ上には経路の候補が表示されます。
- 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。

4 目的の経路を選択

- 目的地への道案内が表示されます。
- 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「📍」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
- 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

子どもロック

お様が本製品を使用する際、特定のアプリで画面を固定して利用時間を設定することができるので、長時間の使いすぎを防止できます。

子どもロックを利用する

1 ロックしたいアプリを起動し、ステータスバーを下にスライド

2 [子どもロック]→[30分後解除] / [制限なし]→[開始]

- 起動中のアプリに子どもロックが設定されます。
- 初回起動時は「使い方のご説明」が表示されます。終了後、子どもロックを一旦終了してから手順1の操作をしてください。
- 設定した時間が近づくとバイブレーションでお知らせします。
- 設定した時間を過ぎると端末は自動的にロックされます。
- 子どもロックを解除するには、[🔓]と[🔓]を同時にロングタッチします。



◎ お買い上げ時は、[🔓] (カスタマイズボタン) から起動することができます。

子どもロックを設定する

1 ホーム画面→[子どもロック]

2 [設定]

- 子どもロック設定画面が表示されます。
- 通知パネルのアイコンをロングタッチしても設定画面を起動できます。

ロック解除の設定	子どもロックを解除する際に、保護者向けの解除画面を表示するかどうかを設定します。
ブルーライト軽減	子どもロック開始時に、ブルーライト軽減を有効にするかどうかを設定します。

クックプラス

クックプラスを利用する

お料理中にレシピを検索してキッチンに置いておくだけでなく、レシピ表示をしながらマルチウィンドウでタイマーやYoutube、音楽再生アプリを使用することができますので、楽しみながらお料理することができます。

1 ホーム画面→[クックプラス]

- 初回起動時は、クックプラスについての説明が表示されます。

2 検索欄で検索したいキーワードを入力→[検索]

検索結果が表示されます。

クックプラスの設定をする

Rollbahn®フラップケースを利用する際の動作を設定します。

1 クックプラス画面→[設定]

Rollbahnフラップケース設定画面が表示されます (▶P.62「Rollbahn®フラップケースの設定をする」)。

プラスランチャーの編集をする

プラスランチャーで同時に利用するアプリを変更できます。

1 クックプラス画面→[🔍]→[編集]

2 [プラスランチャー登録アプリ]→+

- クックプラスを起動したときに表示するアプリを変更する場合は、[クック開始時の利用アプリ]→登録するアプリを選択、と操作します。

3 登録するアプリを選択→[OK]

- 登録できるアプリは分割画面に対応したアプリのみです。
- 画面下部の「[🔍]」/「[🔍]」をタップすると、プラスランチャーの表示／非表示を切り替えられます。
- [終了]をタップするとプラスランチャーを終了します。再度ご利用になるには、クックプラスを起動し直してください。

カレンダー

カレンダーを利用する

カレンダーをスケジュール、1日、1週間、1ヶ月で表示することができます。

- カレンダーの利用にはGoogleアカウントが必要です。Googleアカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[カレンダー]

- カレンダー画面が表示されます。
- 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。



◎ カレンダー画面→[≡]→[スケジュール] / [日] / [週] / [月]と操作すると、カレンダーの表示をスケジュール表示 / 1日表示 / 1週間表示 / 1ヶ月表示に切り替えることができます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[≡]

2 更新 同期しているカレンダーを更新します。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[🔴]→[予定]

新規作成画面が表示されます。

2	タイトル、参加者、場所を入力...	予定のタイトル、参加者、場所を入力します。
	終日	予定を終日に設定します。
	開始日時	開始日時と終了日時を設定します。
	終了日時	・ 終了日時は開始日時より前には設定できません。
	詳細オプション	世界時計の登録や繰り返しを設定します。
	場所を追加	場所を追加します。
	通知を追加	予定開始日時からどのくらい前に通知するかどうかを設定します。
	別の通知を追加	別の通知を追加で設定します。
	ユーザーを招待	ユーザーを招待します。
	色	予定の色を選択します。
	メモを追加	メモを追加します。
	添付ファイルを追加	ファイルを添付します。

3 [保存]

カレンダーを設定する

週の開始日やタイムゾーン、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[≡]→[設定]→[全般]

2 変更する項目を選択

時計

アラーム、タイマー、ストップウォッチ、世界時計機能が利用できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 ホーム画面→[Google]→[時計]→[アラーム]タブをタップ

- アラーム一覧画面が表示されます。
- 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 [🕒]→時刻を選択→[OK]

- アラームの時刻の右側にある「🕒」をタップするとアラームのオン／オフが切り替わり、オンに切り替わるとステータスバーに「🔔」が表示されます。
- 設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームの空白部分または「🔔」をタップし、変更する項目を選択します。

アラームを編集する

1 アラーム一覧画面→編集するアラームの「🔔」をタップ

2 繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 ・平日(土日、日本の祝日以外)のみアラームを鳴動させる場合は「平日」を選択します。
アラームの音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
ラベル	名称を設定します。



memo

- アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、ラベルの内容が表示されます。
- アラームを停止する場合は、通知に表示される「解除」または「スヌーズ」をタップします。
- 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 ホーム画面→[Google]→[時計]→[タイマー]タブをタップ

- タイマーが設定されている場合は、設定済みのタイマーが表示されます。
- 「🕒」をタップすると設定済みのタイマーが開始されます。

2 時間を入力→[🕒]

- タイマー画面が表示され、カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「🕒」をタップするとタイマー音は止まります。
- また、タイマーを途中で停止する場合は「🕒」をタップします。「🕒」をタップするとカウントダウンを再開します。「リセット」をタップするとカウントダウンをリセットします。
- 「ラベル」をタップするとタイマーのラベル名を設定できます。
- 「+1:00」をタップすると、カウントダウン中の時間を1分ずつ増やすことができます。
- 「削除」をタップすると、タイマーを削除できます。
- 「タイマーを追加」をタップするとタイマーを追加できます。
- タイマーを追加すると、タイマー画面右側にインジケータが表示され、現在表示位置を確認できます。画面を上下にフリックすると、タイマーを切り替えることができます。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面→[Google]→[時計]→[ストップウォッチ]タブをタップ

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 [🕒]

時間計測が始まります。



memo

- 計測を一時停止する場合は「🕒」をタップし、再開する場合は「🕒」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。
- 「共有」をタップすると、他のアプリと計測データを共有できます。
- ラップタイムを計測する場合は、「ラップ」をタップします。

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

1 ホーム画面→[Google]→[時計]→[🌐]

- 世界時計の都市選択画面が表示されます。
- 「🌐」→[時間順]／[名前順]と操作すると、時間順／名前順に並べ替えて選択することもできます。

2 登録する都市を選択→[🔍]／[📍]

- 「全ての地域」をタップして地域を選択すると、選択した地域が表示されます。
- 「国と都市を全て表示」にチェックを入れるとすべての国と都市を表示します。



memo

- 登録した都市を削除する場合は、「🌐」をタップ→選択した都市のチェックを外します。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

1 ホーム画面→[Google]→[電卓]

- 電卓画面が表示されます。
- 「CLR」: 計算結果を消去します。
- 「DEL」: 最後に入力した数字／記号を消去します。ロングタッチすると入力した内容を全て消去できます。

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

1 ホーム画面→[基本機能]→[音声レコーダー]

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [🔴]

録音が始まります。

3 [・]

- 録音が停止され、録音した音声は保存されます。
- 「⏏」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「🔴」をタップしてください。
- 録音を停止すると再生画面が表示され、「🔴」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
- 音声レコーダー画面→[📁]→[ファイル形式]／[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。



memo

- Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品のマイクで録音してください。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[📁]

- 音声データ一覧画面が表示されます。
- 音声データの「📁」をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名の編集、詳細情報の表示を行うことができます。

2 音声データをタップ

- 再生画面が表示され、音声の再生が開始されます。
- 再生画面→[📁]→[削除]／[共有]と操作すると、音声データを削除したり共有したりすることができます。
- 再生画面で再生中／一時停止中に「⏏」／「⏮」をロングタッチすると、再生の巻き戻し／早送りができます。



memo

- ホーム画面→[基本機能]→[File Commander]→[ミュージック]→[内部共有ストレージ]→音声データをタップしても音声を再生することができます。

音声データを選択して削除する

1 音声データ一覧画面→[📁]

2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]

- 「すべて選択」→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

ファイル管理

ファイル管理	50
本製品の保存領域について	50
microSDメモリカードを利用する	50
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する	51
microSDメモリカードを初期化する	51
USBホスト機能を利用する	51
File Commander	51
File Commanderを利用する	51
写真をmicroSDメモリカードに移動する	51

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモ리카ードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモ리카ード	メディアファイルなどを保存します。



◎ アプリケーションによってはmicroSDメモ리카ードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモ리카ードを利用する

microSDメモ리카ード(microSDHCメモ리카ード、microSDXCメモ리카ードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

また、microSDメモ리카ードを、内部ストレージとして使用することもできます。



- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモ리카ードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモ리카ードを初期化する」(▶P.51)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモ리카ードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモ리카ードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモ리카ードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモ리카ードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモ리카ード本来の容量で使用できなくなることがあります。

取扱上のご注意

- ・ microSDメモ리카ードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ microSDメモ리카ードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・ microSDメモ리카ードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモ리카ード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモ리카ードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモ리카ードにつきましては、各microSDメモ리카ード発売元へお問い合わせいただくか、xホームページをご参照ください。

microSDメモ리카ードを内部ストレージとして使用する

microSDメモ리카ードを内部ストレージとして使用できます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ストレージ]→[SDカード]

2 [H]→[ストレージの設定]→[内部ストレージとしてフォーマット]

microSDメモ리카ードを内部ストレージとして使用する時のご注意

- ・ 本製品から取り外すと、再度挿入するまで保存されているデータ(アプリや写真など)が使用できなくなります。
- ・ 外部ストレージ化や本製品以外の機器での使用には、再度microSDメモ리카ードのフォーマット(初期化)が必要です。
- ・ 本製品の初期化や修理交換を行った場合、保存されているデータの読み書きができなくなります。

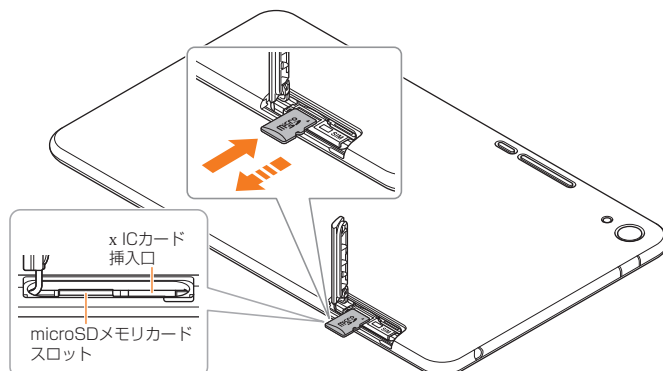
microSDメモ리카ードを取り付ける/取り外す

microSDメモ리카ードを取り付ける

1 本製品のカード挿入口カバーを開ける

2 microSDメモ리카ードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモ리카ードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 カード挿入口カバーを閉じる



◎ microSDメモ리카ードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモ리카ードを取り外す

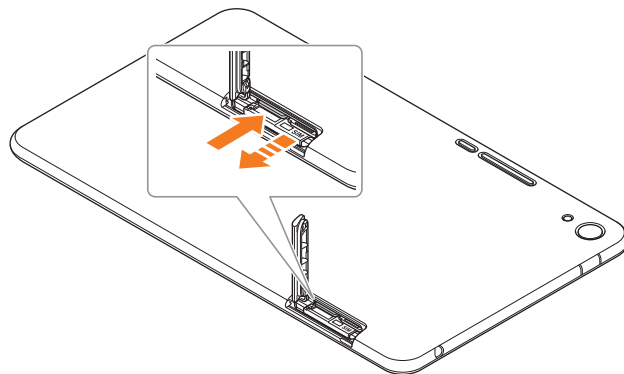
microSDメモ리카ードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ストレージ]→[▲]

2 本製品のカード挿入口カバーを開ける

3 microSDメモ리카ードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモ리카ードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモ리카ードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモ리카ードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。microSDメモ리카ードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 カード挿入口カバーを閉じる

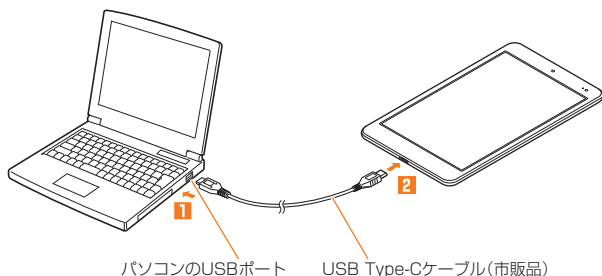


- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモ리카ードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む



パソコンのUSBポート USB Type-Cケーブル(市販品)

内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

・あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 パソコンから本製品を開く
内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ストレージ]

2	内部共有ストレージ	内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。
	SDカード	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。*

* メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[ストレージ]
- 2 [SDカード]→[初期化]→[ストレージの設定]→[フォーマット]
- 3 [消去してフォーマット]→[完了]



◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- ・ USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ・ 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
- ・ USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージに関する設定をする」(▶P.60)をご参照ください。

- 1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む
- 2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する



◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

File Commander

File Commanderを利用する

[File Commander]を利用してデータのコピー／移動などができます。

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[File Commander]→[続行]→[広告を表示しながら利用し続ける]
File Commanderのホーム画面が表示されます。
 - ・ 初めて利用するときは、「利用許諾」の同意画面で内容を確認し、「続行」をタップしてください。
 - ・ File Commanderのホーム画面が表示されない場合は、画面左上の[≡]をタップ→[ホーム]と操作します。
- 2 [写真]／[ミュージック]／[ビデオ]／[ドキュメント]／[ダウンロード]／[ファイルを変換する]／[ごみ箱]／[お気に入り]／[PCファイル転送]／[画面の共有]→フォルダを選択
 - ・ 「+」をタップするとカテゴリーの追加や削除ができます。
- 3 コピー／移動するファイルをロングタッチ→[📄(コピー)]／[✂(切り取り)]
- 4 コピー／移動先を表示→[📄(貼り付け)]

写真をmicroSDメモリカードに移動する

- 1 File Commanderのホーム画面→[内部共有ストレージ]→[DCIM]
- 2 [100KYCRA]→写真データをロングタッチ→[📄]→[移動]
- 3 画面上部の[←]を数回タップして「SDカード」を選択
- 4 microSDメモリカード内の保存先を選択→[OK]

Bluetooth®機能	54
Bluetooth®機能について	54
Bluetooth®機能をオンにする	54
Bluetooth®機器を登録する	54
Bluetooth®機能でデータを送受信する	54
無線LAN(Wi-Fi®)機能	55
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	55
Wi-Fi®機能をオンにする	55
Wi-Fi®ネットワークに接続する	55
Wi-Fi®機能を切断する	55
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする	55
Wi-Fi®機能の詳細設定をする	55
Wi-Fi Direct®を設定する	55
テザリング機能	56
テザリングについて	56
USBテザリング機能を利用する	56
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	56
Bluetooth®テザリング機能を利用する	56

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、データ送受信などが利用可能になります。

- ・他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.54)。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[Bluetooth]→[ON]にする

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「」(接続待機中のアイコン)が表示されます。

memo

- ◎Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

- ・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[Bluetooth]→[ON]にする

Bluetooth設定画面が表示されます。
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4～16桁の数字)を入力します。

memo

- ◎Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ◎ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「」→[更新]と操作して、機器を再検索します。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面を表示

- ・Bluetooth設定画面を表示中は、他のBluetooth®機器から検出可能になります。

■他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名をタップ→[OK]

- ・ペアリングを解除する場合は、「」→[削除]と操作します。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- ・送信は各アプリの「」や「」などのメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信

ステータスバーに「」が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 「着信ファイル」の[承諾]

ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[Wi-Fi]→[ON]にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[Wi-Fi]→[ON]にする

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、[接続]をタップします。
※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [削除]

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。

また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面

■ から操作する場合

2

3 必要な項目を設定

保存済みネットワーク*	保存済みのWi-Fi®ネットワークを表示します。
ネットワークの通知	公衆通信回線が利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
Wi-Fiのスリープ設定	▶P.55「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

* 保存済みのWi-Fi®ネットワークがないときは表示されません。

■ 詳細設定から操作する場合

2 →[詳細設定]

証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	▶P.55「Wi-Fi Direct®を設定する」
WPSプッシュボタン	ボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
WPS PIN入力	PIN入力方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。

Wi-Fi Direct®を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイス同士を接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- ・接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- ・「デバイスの検索」をタップすると、デバイス一覧を更新できます。
- ・「デバイス名を変更」をタップすると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi[®])機器を最大10台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth[®]機器を最大5台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



memo

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2	USBテザリング	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.51)を参照してパソコンと接続してください。
---	----------	---

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



memo

◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作²で「USBテザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2	Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
	Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



memo

◎ 「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2	Bluetoothテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
---	----------------	------------------------------------

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定	58
設定メニューを表示する	58
x設定メニューを表示する	58
無線とネットワークの設定をする	58
画面の設定をする	59
省電力モードを設定する	59
表示拡大モードを設定する	59
カスタマイズボタンを設定する	60
アプリの通知を設定する	60
音の設定をする	60
ストレージに関する設定をする	60
電池使用量を表示する	60
メモリの使用状況を確認する	60
位置情報の設定をする	60
スタート画面とセキュリティの設定をする	60
アカウントの設定をする	61
Google	61
言語と入力に関する設定をする	61
バックアップとリセット	61
日付と時刻の設定をする	62
ユーザー補助の設定をする	62
印刷に関する設定をする	62
Rollbahn®フラップケースの設定をする	62
タブレット情報に関する設定をする	62

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]

- 設定メニューが表示されます。
- 画面上部の「候補」欄に、よく利用する設定などの候補が表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
xサポート	My xのサイトに接続します。	—
x設定メニュー	xの各サービスの設定を行います。	P.58
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	—
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定します。	P.55
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。	P.54
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.58
その他	機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。	P.58
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.26
ディスプレイ	フォントサイズや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.59
通知	アプリの通知についての設定を行います。	P.60
音	マナーモードやバイブレータ(振動)、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.60
省電力モード	バイブレータや位置情報サービスの動作などを制限し、電池の消費を抑えます。	P.59
子どもロック	子どもロックを解除する際に、保護者向けの解除画面を表示するかどうかを設定します。また、子ども向けのブルーライト軽減も設定できます。	P.47
表示拡大モード	文字とアイコンのサイズを一括で拡大します。	P.59
カスタマイズボタン	○(カスタマイズボタン)を押したときの動作を設定します。	P.60
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	P.46
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。	P.60
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.60
メモリ	本機にインストールされているアプリのメモリ使用状況を確認できます。	P.60
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.60
スタート画面とセキュリティ	SIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.60
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.61
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.61
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.61
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.61
日付と時刻	日付・時刻の設定や、時間表示の設定を行います。	P.62
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.62
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.62
Rollbahnフラップケース	Rollbahn®フラップケースを開閉したときに画面を自動で点灯／消灯したり、本製品を立てかけている状態のときは画面の点灯を継続したりできます。	P.62
タブレット情報	MDNや電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.62

x設定メニューを表示する

x IDなどxの各種サービスを設定したり、データ移行などのサービスを利用したりできます。

1 設定メニュー→[x 設定メニュー]

2	x ID	▶P.21「x IDを設定する」
x初期設定	以前にご利用のアプリのダウンロードや、xの便利な機能の設定など、本機種のご利用を始められる際の設定をサポートするアプリです。	
おすすめアプリ一覧	おすすめアプリのダウンロードや、インストール済みのアプリの確認、アンインストールを行うことができます。	
x位置情報サービス	xが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするために使います。	
x Wi-Fi 接続ツール	xの公衆無線LANサービス「x Wi-Fi SPOT」やxの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。	
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをxサーバーに預けたり、microSDメモ리카ードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。	
スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やxメールなどの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。	
コミュニケーションが遠隔操作でサポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	
x災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。	
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。	
x通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、データ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、xに自動送信する機能です。	
セルフケア設定	セルフケアを利用するかどうかを設定できます。また、アプリの更新確認をしたり、更新があるときに更新通知を表示するかどうかを設定したりできます。	
法的情報	法的情報を確認します。	

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

2	Wi-Fi	▶P.55「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
Bluetooth	▶P.54「Bluetooth®機能」	
データ使用量	モバイルデータ通信の設定や、データサーバーの設定、通信量の確認などを行います。 - データサーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。 【】→[モバイルネットワーク]と操作して、モバイルデータの詳細な設定を行うことができます。 「Wi-Fiデータ使用量」をタップすると、Wi-Fi®データ使用量画面が表示され、データ使用量を確認できます。	
その他	機内モード	▶P.59「機内モードを設定する」
	テザリング	▶P.56「テザリング機能」
	VPN	▶P.59「VPNを設定する」
	モバイルネットワーク	モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 アクセスポイント名の設定については、「データ通信を利用する」(▶P.40)をご参照ください。
	ネットワーク設定のリセット	Wi-Fi®やモバイルネットワークなどのネットワーク設定をすべてリセットします。



◎「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、4G(LTE/WiMAX 2+)通信でのデータ通信ができなくなります。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能(データ通信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー→[その他]

2 「機内モード」を「ON」にする

機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「機内モード」が表示されます。

memo

- ◎ [電源ボタン]を1秒以上長く押す→[機内モード]と操作しても機内モードを設定できます。
- ◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi[®])／Bluetooth[®]機能をオンにすることができません。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能による通信などをオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- PPTP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

- ・初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。

2 [+]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

- ◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNの「編集」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
- 削除するには、削除するVPNの「削除」をタップ→[削除]と操作します。

VPNに接続する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに「VPN」が表示されます。

VPNを切断する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[切断]

画面の設定をする

画面の明るさの設定やフォントサイズの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調整	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整するかどうかを設定します。
	ブルーライト軽減	▶P.59「ブルーライト軽減を設定する」
	壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
	スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
	スクリーンセーバー	▶P.59「スクリーンセーバーを設定する」
	タップして画面点灯	ディスプレイをダブルタップしたときに点灯するかどうかを設定します。 ・ディスプレイ表面に水滴が付着している場合や、ディスプレイ枠付近をダブルタップした場合は画面点灯しないことがあります。
	フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
	表示サイズ	画面上のアイテムのサイズを設定します。
	画面の自動回転	▶P.24「縦／横画面表示を切り替える」
	キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
	電池残量のパーセント表示	ステータスバーに電池残量をパーセント表示するかどうかを設定します。
	ON/OFF設定表示	通知パネルにON/OFF設定アイコンを表示するかどうかを設定します。

ブルーライト軽減を設定する

画面から発せられるブルーライトの光量を減らすことで、目の負担を軽減します。

1 設定メニュー→[ブルーライト軽減]→[ON]にする

強度設定メニューが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

memo

- ◎ ステータスバーを下にスライド→[ブルーライト軽減]と操作してもブルーライト軽減を設定できます。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]→[ON]にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

「[今すぐ開始]」と操作すると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

省電力モードを設定する

バイブレーションや位置情報サービスの動作などを制限し、電池の消費を抑えます。

1 設定メニュー→[省電力モード]

2 「ON」にする

- ・「自動的にON」をタップすると、指定した電池残量になったときに、自動的に省電力モードが起動するように設定できます。

表示拡大モードを設定する

文字とアイコンのサイズを一括で拡大します。

- ・表示拡大モードを有効にすると、自動的にホームアプリが標準ホームに切り替わります。xペーシックホームでは表示拡大モードは利用できません。

1 設定メニュー→[表示拡大モード]

2 [OK]

memo

- ◎ 表示拡大モードを解除する場合はホーム画面→[表示拡大モード]→[お買い上げ時のホーム(xペーシックホーム)を使用する]／[標準ホームを使用する]→[OK]と操作します。

カスタマイズボタンを設定する

○ (カスタマイズボタン) を押したときに起動するアプリを設定します。

1 設定メニュー→[カスタマイズボタン]→アプリのアイコンをタップ→起動するアプリをタップ

memo

- (カスタマイズボタン) を1秒以上長く押しても、カスタマイズボタンの設定を起動できません。
- アプリのチェックを外すと、カスタマイズボタンの設定をオフにできます。

アプリの通知を設定する

アプリごとの通知を設定する

1 設定メニュー→[通知]→アプリを選択

2	すべてブロック	アプリの通知を表示するかどうかを設定します。
	バックグラウンドで通知	「ON」にすると、音やバイブレータで知らせず、現在の画面に通知を数秒間表示する動作を行います。

※表示される項目は、アプリによって異なります。

通知全体の設定をする

1 設定メニュー→[通知]→[🔊]

2	お知らせLED	アプリから通知があったときに通知ランプを点灯するかどうかを設定します。
	スタート画面の通知	スタート画面にアプリの通知を表示するかどうかを設定します。

音の設定をする

マナーモードの設定や通知音など、音やバイブレータに関する設定を行います。

1 設定メニュー→[音]

音設定メニューが表示されます。

2	メディアの音量	▶P.60「各種音量を調節する」
	アラームの音量	
	通知の音量	
	マナーモード	▶P.28「マナーモードを設定する」
	デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
	デフォルトのアラーム音	アラーム音に設定するデータを選択して登録します。
	その他の音/バイブ	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
	キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。

各種音量を調節する

1 音設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節

memo

- 「通知の音量」の音量を0にすると、タッチ操作音やキー操作音もオフになります。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→[ストレージ]

2	内部共有ストレージ	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
	SDカード	microSDメモリカードの使用量と合計容量を確認できます。 - microSDメモリカードを内部ストレージとして使用することができます(▶P.50)。 - microSDメモリカードが認識されていると「▲」が表示されます。「▲」をタップすると、認識を解除してmicroSDメモリカードを安全に取り外しできます。 - microSDメモリカードが認識されていない時に「SDカード」→「マウント」と操作すると、microSDメモリカードを認識します。

※表示される項目は、端末の状態によって異なります。

memo

- 内部共有ストレージの各項目(アプリ、画像、動画など)をタップすると、各項目のアプリを起動できます。
- 内部共有ストレージの「外部メディア」をタップすると、ファイルマネージャーが表示され、データの移動やコピーなどができます。
- microSDメモリカードを認識しているときに、「SDカード」をタップすると、ファイルマネージャーが表示され、データの移動やコピーなどができます。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→[電池]

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

バッテリーケアモードを設定する

満充電しないことで、電池の寿命を延ばすことができます。

1 設定メニュー→[電池]

2 [🔋]→[バッテリーケアモード]→「ON」にする

バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマーク「♥」が表示されます。

memo

- バッテリーケアモードをONにすると、充電が85%で止まります。1回の充電での使用時間は短くなります。
- 充電が85%に達すると、充電ランプが赤色から緑色に変わります。
- 86%以上の状態でバッテリーケアモードをONにした場合、85%に減るまで充電されません。

メモリの使用状況を確認する

1 設定メニュー→[メモリ]

メモリの使用状況が表示されます。

- ・「▼」をタップすると表示する時間を切り替えできます。
- ・「アプリのメモリ使用状況」をタップすると、各アプリのメモリ使用状況を確認できます。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→「ON」にする

2	モード	位置情報の取得モードを設定します。
	位置情報サービス	ロケーション履歴を管理したり、x位置情報サービスの設定や位置情報取得の高速化を利用します。
	最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 アプリをタップするとアプリ情報を表示します。

memo

GPS機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。
- 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

スタート画面とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[スタート画面とセキュリティ]

スタート画面とセキュリティ設定メニューが表示されます。

2

セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にし、スタート画面を非表示にします。
	スライド	セキュリティを無効にし、スライド操作で解除するスタート画面を表示します。
	パターン	スタート画面表示後、解除パターンを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	ロックNo.	スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	パスワード	スタート画面表示後、パスワードを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
タブレットの暗号化	端末のデータを保護するため、本製品内部に保存されているシステムデータはお買い上げ時に暗号化されています。	
SIMカードロック設定	▶P.61「SIMカードロックを設定する」	
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。	
端末管理アプリ	端末管理アプリを表示または無効にします。	
提供元不明のアプリ	▶P.46「提供元不明のアプリのダウンロード」	

ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
ユーザー認証情報	保存されている認証情報の表示と変更を行います。
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージとmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェント(Smart Lockなどの機能)を管理します。
画面の固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。 ▶P.27「画面固定モードについて」
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリの使用履歴データへのアクセスを許可するアプリを管理します。



memo

◎ 設定メニュー→[スタート画面とセキュリティ]→[セキュリティの種類]の[]をタップすると、スタート画面のアプリショートカットやメッセージ、Smart Lockを設定できます。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。

1 スタート画面とセキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 スタート画面とセキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

・同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[アカウント]

アカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントの種別をタップ→同期の設定をするアカウントを選択



memo

◎ アカウント設定メニュー→[]→[データの自動同期]→[OK]と操作すると、自動同期のオン/オフを切り替えることができます。

アカウントを追加／削除する

■アカウントを追加する

1 アカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 アカウント設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択→[]

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]



memo

◎ 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.62)が必要です。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。

・Google設定の詳細については、Google設定メニュー→[]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご確認ください。

1 設定メニュー→[Google]

Google設定メニューが表示されます。

2 各項目を設定

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2	言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
	スペルチェック	スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。 ・チェックする言語を設定する場合は[言語]→言語をタップと操作します。 ・デフォルトで使用する言語を設定する場合は[スペルチェッカーのデフォルト]→スペルチェッカーをタップ、と操作します。 また、「  」をタップすると連絡先の姓名をスペルチェッカーで使用するかどうかも設定できます。
	仮想キーボード	Google日本語入力 ▶P.29「文字入力の各種設定を行う」 Google音声入力 音声入力の言語や不適切な语句に関する設定をします。 キーボードを管理 キーボードの一覧の表示を管理します。
	物理キーボード	仮想キーボードの表示 物理キーボードが有効になっていても、画面上の仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。 キーボードショートカットヘルパー 物理キーボードで使用可能なショートカットを表示します。
	テキスト読み上げの出力	Googleテキスト読み上げエンジン テキストを読み上げる言語や、Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。 「  」をタップすると、言語の変更やGoogleテキスト読み上げエンジンの設定、音声データのインストールを行います。 音声の速度 テキストを読み上げる速度を設定します。 音声の高さ テキストを読み上げる音程を設定します。 音声の速度をリセット テキスト読み上げ速度を通常のリセットにリセットします。 音声の高さをリセット テキスト読み上げの音声の高さをデフォルトにリセットします。 サンプルを再生 音声合成の短いサンプルを再生します。 デフォルトの言語のステータス デフォルトの言語の状態を表示します。
	ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

※ 表示される項目は、画面によって異なります。



memo

◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのインストールが必要な場合があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語(日本)」の場合には利用できないことがあります。

◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップとリセット

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]

バックアップとリセット設定メニューが表示されます。

2	データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
	バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
	Google アカウント	Googleドライブへのバックアップに関する設定をします。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
	データの初期化	▶P.62「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 バックアップとリセット設定メニュー→[データの初期化]

2 [タブレットをリセット]→[すべて消去]

- ・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。



memo

- ◎データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎[SDカード内データを消去]を選択するとmicroSDメモ리카ード内のデータを消去できます。
- ◎設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・SIMカードロック設定
- ◎本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

2 自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.62「日付を設定する」
時刻設定	▶P.62「時刻を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。



memo

- ◎「自動設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動設定」がオンに設定されています。
- ◎日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「自動設定」「自動タイムゾーン」をオフにする必要があります。
- ◎状況によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付設定]

2 数字を上下にスライドして日付を合わせる

3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻設定]

2 数字を上下にスライドして時間と分を合わせる

「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」「午後」をスライドして切り替えます。

3 [OK]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2 拡大操作	トリプルタップで拡大／縮小表示をするかどうか設定します。
フォントサイズ	文字サイズが大きくなります。
表示サイズ	画面上のアイテムのサイズを変更します。
高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
大きなマウスポインタ	マウス等を接続したときのポインタサイズを大きくします。
テキスト読み上げの出力	▶P.61「言語と入力に関する設定をする」
色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
色補正	画面の色を補正するように設定します。
字幕	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。

モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定します。
ロングタッチ時間	ロングタッチの時間を設定します。
ポインタが停止したらクリック	ポインタが停止したらクリックします。スライドバーの値を変更すると、クリックまでの時間を変更することができます。この設定を使用するには本製品にマウス/トラックパッド等を接続してください。
ユーザー補助のショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

- ・印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。

1 設定メニュー→[印刷]

- ・「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

Rollbahn®フラップケースの設定をする

Rollbahn®フラップケースを開閉したときに画面を自動で点灯／消灯したり、本製品をRollbahn®フラップケースなどに立てかけている状態のときは画面の点灯を継続したりできます。

1 設定メニュー→[Rollbahnフラップケース]

2 オープン／クローズ	Rollbahn®フラップケースを開けたときに画面を自動で点灯、閉じたときに自動で消灯するかどうかを設定します。
バックライト自動延長	Rollbahn®フラップケースなどに立てかけている場合、自動で画面点灯時間を延長するかどうかを設定します。



memo

- ◎自動延長の判定には端末の傾きを用いているため、Rollbahn®フラップケースがなくてもご利用いただけます。
- ◎周囲の環境によっては自動延長されない場合があります。

タブレット情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、ソフトウェア更新などを行います。

1 設定メニュー→[タブレット情報]

2 ソフトウェア更新	▶P.64「ソフトウェアを更新する」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
SIMカードの状態	▶P.65「SIMロック解除」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証情報	
この端末についてフィードバックを送信	本製品の使用情報を送信するかどうかを設定します。
モデル	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
Androidセキュリティパッチレベル	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

付録..... 64

 ソフトウェアを更新する..... 64

 故障とお考えになる前に..... 64

 アフターサービス..... 65

 SIMロック解除..... 65

 周辺機器..... 66

 イヤホンを使用する..... 66

 主な仕様..... 66

 データ通信端末の比吸収率(SAR)について..... 67

 FCC Notice..... 67

 輸出管理規制..... 67

 知的財産権について..... 68

索引..... 69

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- ・本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- ・本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

ご利用上の注意

- ・データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、xホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、xショップもしくはお客さまセンター（157 / 通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、xからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、xショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- ・海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

- ・インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[タブレット情報]→[ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新／OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障紛失サポート」アプリ（▶P.45）にて「トラブル診断」を行ってください。

ホーム画面→[x サポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.20
	[ >]（電源ボタン）を通知ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.20
充電ができない	指定の充電用機器（別売）は正しく接続されていますか？	P.20
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.20
	指定の周辺機器（アダプタなど）で充電をしていますか？	P.20
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	[ >]（電源ボタン）と[ >]（音量上ボタン）を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することがあります。	P.20
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.20
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.20
[ >]（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.27
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.18
	x ICカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.19
Wi-Fi®がつかない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.27
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.55
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
ディスプレイ／通知ランプは点灯／点滅するが通知音が鳴らない	「機内モード」が設定されていませんか？	P.59
	「通知の音量」が最小に設定されていませんか？	P.60
	マナーモードに設定されていませんか？	P.28
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.20
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.60
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.20
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.24
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.20
[ >]が表示される	x ICカードが挿入されていますか？	P.19
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.20
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.20
	・赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	—
	内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.11
	[ >]（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.27
	バッテリーケアモードが設定されていませんか？	P.60
ディスプレイの照明がすぐに消える	使用していないアプリや機能を終了・停止してください。	—
	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.59
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.59
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
	ブルーライト軽減が設定されていませんか？	P.59
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.66
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.26
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.50
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.50
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていますか？	P.20
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.42

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のxホームページの

「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.x.com/trouble-check/>

アフターサービス

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

**memo**

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのxの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、xアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。

補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができません。）
 - ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポートについて

xの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、xホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

**memo**

- ご入会は、xの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のxの端末のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるxの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- xの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいxの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のxの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

x ICカードについて

x ICカードは、xからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、xショップもしくはPiPiItまでお問い合わせください。

xアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目 2年目以降	無料 下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	補償なし
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目 2年目以降	無料 無料(3年間保証)	無料
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	実費負担
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

金額はすべて税抜

「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 3,000円	8,000円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 6,000円
「WEB割引」 ^{*2} ／「代用機なし割引」 ^{*3} の両方を適用	4,000円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 2,000円	7,000円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 5,000円
「代用機なし割引」 ^{*3} のみを適用	4,500円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 2,500円	7,500円／ 長期ご利用特典 ^{*1} 5,500円

金額はすべて税抜

- ※1 3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年以上の場合が対象です。
- ※2 WEB割引:xホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込み場合、サービス利用でご負担金から500円を割引します。
[WEB 割引]の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。
- ※3 代用機なし割引:「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
詳細はxホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)
※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
<https://www.x.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/>

**memo**

交換用携帯電話機お届けサービス

- xの端末がトラブルにあわれた際、お問い合わせいただくことでご指定の送付先に交換用端末（同一機種・同一色^{*}）をお届けします。故障した今までお使いのxの端末は、交換用端末が手元に届いてから14日以内に返却ください。
 - ※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用端末をご提供します。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用が~~ある~~場合は2回目とさせていただきます。

預かり修理

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ・SIMロック解除はxホームページ、xショップで受付しております。
- ・他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→[基本機能]→[設定]→[タブレット情報]→[SIMカードの状態]→[状態の更新]と操作して行ってください。
- ・詳しくは、xホームページをご参照ください。
<https://www.x.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売) *
- 共通ACアダプタ03(0301PQA) (別売) *
- 共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA) (別売) *
- 共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA) (別売) *
- 共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA) (別売) *
- 共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA) (別売) *
- 京セラType-C充電ケーブル(01KYHAA) (別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)

※ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

memo

◎ 周辺機器は、xオンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.x.com>

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

1 イヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)を接続

memo

◎ イヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

主な仕様

■ 本体	
ディスプレイ	約8.0インチ、約1677万色、TFT全透過型
	1,920×1,200ドット(WUXGA)
質量	約●●g
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約214×126×8.3mm
内蔵メモリ容量 ^{※1}	ROM:約32GB RAM:約3GB
連続待受時間	約●●時間
連続デザリング時間	約●●分
Wi-Fi [®] デザリング最大接続数	10台
充電時間(目安)	TypeC共通ACアダプタ01(別売)
	約●●分
カメラ撮像素子	CMOS
アウトカメラ有効画素数	約1,300万画素
インカメラ有効画素数	約500万画素
無線LAN(Wi-Fi [®]) 機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン
	Bluetooth [®] 標準規格Ver.4.2準拠 ^{※2}
	出力
	Bluetooth [®] 標準規格Class 1
	通信距離 ^{※3}
Bluetooth [®] 機能	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能 ^{※4}
	GATT(Generic Attribute Profile)
	SPP(Serial Port Profile)
	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
	AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
	OPP(Object Push Profile)
	PBAP(Phone Book Access Profile)
	HID(Human Interface Device Profile)
	PAN(Personal Area Networking Profile)
	PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point)
	PAN USER(Personal Area Networking-User)
	HOGP(HID over GATT Profile)
	SCMS-T
	Bluetooth SSP
	MAP(Message Access Profile)
	使用周波数帯
	2.4GHz帯

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
※2 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※4 Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

memo

◎ 連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以上になることもあります。

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種FA51は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定められており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.560W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○ xのホームページ

<https://www.x.com/>

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your tablet.

Warning! Read this information before using your tablet. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this tablet complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This tablet was tested for typical body-worn operations with the back of the tablet kept at a distance of 0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 0 cm separation distance between your body and the back of the tablet. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

Turn off your tablet before flying

You should turn off your tablet when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your tablet while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your tablet while the plane is in the air.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google, Google ロゴ, Android, Android ロゴ, Google Play, Google Play ロゴ, Playミュージック, Playミュージック ロゴ, Playムービー, Playムービー ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google マップ, Google マップ ロゴ, Googleドライブ, Googleドライブ ロゴ, Googleマップナビ, Googleマップナビ ロゴ, Google Chrome, Google Chrome ロゴ, Google 音声検索, Google 音声検索 ロゴ, YouTube および YouTube ロゴは, Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®, Windows®およびWindows® 7/Windows® 8.1/Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は, Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange® は, 米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft® Word, Microsoft® Officeは, 米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHC, microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは, Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり, 京セラ株式会社は, これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは, WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®, WPA®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ, Wi-Fi Protected Setup ロゴ, Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™, Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter, TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

(1) ACCESS, ACCESSロゴ, NetFrontは, 株式会社ACCESSの日本国, 米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

(2) 本製品の一部分に, Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

「Rollbahn」は株式会社デルフォニックスの登録商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は, 各社の登録商標または商標です。

License

■ OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては, お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては, 以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について, 複製, 頒布, 改変, 解析, リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して, ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性, 特定目的への適合性, 第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし, ソフトウェアに含まれている, GNU General Public License(GPL), GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては, 当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお, オープンソースソフトウェアについては, 以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は, GNU General Public License(GPL), GNU Library/Lesser General Public License(LGPL), その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL, LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については, 本製品の「タブレット情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には, 京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる, 京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計, 開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており, 著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き, お客様は京セラ株式会社に無断で頒布, 複製, 改変, 公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では, 製品とサービスの品質の向上のために, お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は, 予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し, 品質とサービス向上を目的として, お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリケーションの使用状況情報, エラーに関するログ情報, およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能, 使用頻度, メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録, 保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に, お客様の同意のうえ収集することがあります。

索引

記号／数字／アルファベット

x ICカード	18, 19
取り付け	19
取り外し	19
x ICカード挿入口	18
x ID	21
x サービスTOP	44
x スマートサポート	44
x スマートパス	44
x 設定メニュー	58
x メール	34
Bluetooth®機能	54
機器登録	54
起動	54
注意	14
データの送受信	54
パスキー	54
ペアリング	54
Chrome	40
Webページの移動	40
Webページの表示	40
Webページのメニュー	40
ブックマーク	40
ブックマーク登録	40
履歴	40
Facebook	46
File Commander	51
Gmail	37
更新	37
作成	37
受信	37
送信	37
転送	37
返信	37
メニュー	37
Google	61
Google Play	46
Googleアカウント	21
Googleマップ	46
周辺のスポット	47
道案内	47
microSDメモリーカード	50
初期化	51
取り付け	50
取り外し	50
microSDメモリーカードスロット	18
My x	44
PINコード	14
変更	61
PINロック解除コード	14
Play Music	43
曲検索	43
再生	43
プレイリスト作成	43
Playムービー&TV	43
Rollbahnフラップケース	62
SAR	67
SATCH VIEWER	46
SIMロック解除	65
SMS	36
SMSセンター	36
検索	36
削除	37
作成	36
受信	36
受信フィルター	37
設定	37
送信	36
転送	36
返信	36
USB Type-Cケーブル	
接続	51
VPN設定	59
Wi-Fi®	55
起動	55
スリープ設定	55
接続	55
切断	55
注意	14
ネットワークを追加	55
Wi-Fi Direct®	55

あ

アウトカメラ	18
アカウント	61
アカウントを削除	61
アカウントを追加	61

同期	61
アフターサービス	65
アプリの通知の設定	60
アラーム	48
繰り返し	48
暗証番号	14
あんしんフィルター for x	45
位置情報の設定	60
イヤホンマイク端子	18
インカメラ	18
印刷	62
インターネット	40
音と通知の設定	
音量調節	60
操作音	60
通知音	60
マナーモード	28
音の設定	60
音声レコーダー	48
音量	60
音量下／上ボタン	18

か

カード挿入口カバー	18
外部接続端子	18
各部の名称と機能	18
カスタマイズボタン	18
カメラ	
画面の見かた	42
静止画撮影	43
設定	42
動画撮影	43
カレンダー	47
作成	47
メニュー	47
機内モード	59
基本操作	24
言語と入力	61
Google音声入力	61
言語	61
テキスト読み上げの出力	61
故障とお考えになる前に	64
故障紛失サポート	65
故障紛失サポートを利用する	45
子どもロック	47

さ

撮影ライト	18
写真/動画	43
充電	20
周辺機器	66
仕様	66
省電力モード	59
ズームイン／ズームアウト	24
スクリーンショット	28
ステータスアイコン	27
ステータスバー	24, 27
ストレージ	51
ストレージの設定	60
スピーカー	18
スライド	24
スリープモード	21
セキュリティの設定	60
設定メニュー	58
ソフトウェア更新	64
ご利用上の注意	64
ダウンロード	64

た

タッチパネル	18, 24
タップ	24
ダブルタップ	24
タブレット情報	62
通知アイコン	27
通知(充電)ランプ	18
通知パネル	27
ディスプレイ	18
ディスプレイの設定	59
明るさ	59
自動回転	24
データ通信	40
注意	15
データ通信端末の非吸収率(SAR)	67
データの初期化	62
データ表示	43
テザリング	56
Bluetooth®テザリング	56
USBテザリング	56
Wi-Fi®テザリング	56
電源ボタン	18
電源を入れる	20

電源を切る	20
電卓	48
電池使用量	60
時計	48
ドラッグ	24
取り扱い上のご注意	10

な

内蔵Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部	18
内蔵GPSアンテナ部	18
内蔵サブアンテナ部	18
内蔵メインアンテナ部	18
ナビゲーションバー	24

は

バックアップとリセット	61
光センサー	18
日付と時刻	62
表記方法	2
表示拡大モード	59
フリック	24
ブルーライト軽減	59
ホーム画面	24

ま

マイク	18
マップ	46
マナーモード	28
マルチウィンドウ	27
無線とネットワーク	58
メール	
xメール	34
Gmail	37
SMS	36
メモリ	60
文字入力	28
絵文字入力	29
顔文字入力	29
記号入力	29
切り取り	29
コピー	29
貼り付け	29
フリック入力	29
モバイルネットワーク	58

や

ユーザー補助	62
--------	----

ら

レンズ部	18
連絡先	32
インポート	32
エクスポート	32
お気に入り登録	32
削除	32
作成	32
登録	32
編集	32
ロングタッチ	24

xのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

My x	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.x.com/support/	x ボタン>トップメニューまたはx ポータルトップ>My x
アプリ版	x Market もしくは App Store から 「My x」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	x 携帯電話 (スマホ/ケータイ)	x 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし XXX	 0077-X-XXX	 0120-XXX-XXX [沖縄の方は]  0120-XXX-XXX
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし XXX	 0077-X-XXX	 0120-XXX-XXX

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on
※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「x 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金別、x 携帯電話の再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	x 携帯電話 (スマートフォン/ケータイ) / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	 0120-XXX-XXX

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！



キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、
ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。